

平成18年度研究業績一覧

平成18年(2006年)4月1日～平成19年(2007年)3月31日

人間・心理学系

青木 真理

- 【著 書】** 風土臨床 沖縄との関わりから見えてきたもの 心理臨床の新しい地平をめざして 共著 コスモス・ライブラリー
新しい実践を創造する学校カウンセリング入門 共著 東洋館出版社
心理臨床における個と集団 共著 創元社
- 【論 文】** 中学校におけるスクールカウンセラーによる別室登校者支援のあり方について 作田美穂 福島大学総合教育研究センター紀要 創刊号 2006.7
高校教員のピア・サポート活動に関する一考察 吾妻美和 福島大学総合教育研究センター紀要 創刊号 2006.7
適応指導教室における支援のあり方について 佐藤則行 福島大学総合教育研究センター紀要 創刊号 2006.7
デンマークの教育改革 谷雅泰 福島大学地域創造 第18巻第2号 2007.2
ある不登校女子中学生の事例—総合的支援のありかたを探る— 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.12
- 【調査報告】** 平成16・17年度附属中学校「教育相談室」活動報告 渡部由美、佐藤敏宏、石井博行、君島勇吉 福島大学総合教育研究センター紀要 創刊号 2006.7
デンマーク教育関係者インタビュー 福島大学地域創造 第18巻第1号 2006.9
平成17(2005)年度福島大学総合教育研究センター附属臨床心理・教育相談室活動報告 中野明德、生島浩、水野薫、渡辺隆 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.12
2005年度臨床心理・教育相談室「フレンド・ルーム」活動報告 宮本優香、東敏之、天海久、荒川映子、井手口梨恵子、遠藤佳子、加藤弘晃、金城美香、作田美穂、佐藤則行、芳賀麻美、星裕子、渡辺舞子、中野明德 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.12
総合教育研究センター「教育実践研修講座」2005年度活動報告 中野明德、昼

田源四郎、生島浩、宮前貢、水野薫、渡辺隆 福島大学総合教育研究センター紀要 第2号 2007.1

デンマークの国民学校の視察および聞き取り調査 谷雅泰、三浦浩喜 福島大学地域創造 第18巻第2号 2007.2

平成17(2005)年度福島大学総合教育研究センター附属臨床心理・教育相談室活動報告 中野明德、生島浩、水野薫、渡辺隆 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.9

五十嵐 敦

- 【論 文】** 働く人々のメンタルヘルスに関わる要因について 単 産業保健情報誌「さんぼ福島」 第18号 2007.3
- 【調査報告】** 福島女性キャリア形成支援ガイドブック 福島女性キャリア形成支援プロジェクト実行委員会 2006.6
福島県内事業所における若者の雇用に関する調査 単 福島大学地域創造 第18巻 第2号 2007.2
キャリア形成支援の課題について 単 月刊「進路指導」 第79巻第12号 2006.12
いま、なぜ産業カウンセリングか 単 産業保健情報誌「さんぼ福島」 第16号 2006.8
- 【学会発表】** 中学生の社会的行動についての研究(36) 日本教育心理学会 岡山コンベンションセンター 2006.9
中学生の社会的行動についての研究(40) 日本心理学会 福岡国際会議場 2006.11
若者の進路・職業についての意識 日本キャリア教育学会 関西大学 2006.11
働く人々のメンタルヘルスに関わる要因について(2) 日本産業ストレス学会 名古屋国際会議場 2007.1
- 生島 浩**
- 【著 書】** 心理査定実践ハンドブック 共著 創元社
臨床心理クライアント研究セミナー 共著 至文堂
- 【論 文】** 行為障害の精神療法の可能性—非行臨床

- の経験から 単著 思春期青年期精神医学 16・1 2006.6
- わが国の非行臨床の現状と課題 単著 野外教育研究 9巻・2号 2006.6
- 説き明かし・非行臨床 単著 犯罪と非行 151号 2007.2
- 非行への取り組み—家族支援を中心に— 単著 メンタルヘルスと家族 9号 2007.7
- スクールカウンセラーによる軽度発達障害への支援に関する研究 渡邊舞子 福島大学教育実践研究紀要 創刊号 2006.7
- スクールカウンセリングのスーパービジョン事例 神尾直子 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.12
- 軽度発達障害児の統合的支援プログラムに関する研究 玉木千種 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.12
- 【調査報告】** 平成17年度福島大学総合教育研究センター附属臨床心理・教育相談室活動報告 中野明徳・水野薫・青木真理・渡辺隆 福島大学心理臨床研究 創刊号 2006.12
- 教育実践総合センター「教育実践研修講座」2005年度活動報告 青木真理・中野明徳・水野薫・宮前貢・昼田源四郎・渡辺隆 福島大学教育実践研究紀要 2号 2007.1
- 板橋 孝幸**
- 【論文】** 「昭和戦前期農村小学校教師による郷土教育の展開—秋田県由利郡西目村を事例として—」 『地方教育史研究』 第27号 2006.5
- 「昭和戦前期香川県陶小学校における特設郷土科論」 『東北大学大学院教育学研究科研究年報』 第54集第2号 2006.6
- 「小中高等学校歴史教科書にみる田中正造・足尾鉍毒事件—現行教科書を中心に—」 『田中正造と足尾鉍毒事件研究』 第14号 2006.11
- 「大正・昭和戦前期宮城県中田小学校における郷土教育の展開—村内教育体制とカリキュラム改造構想に着目して—」 佐藤高樹 『東北教育学会研究紀要』 第8号 2007.2
- 「東北大学におけるファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動の現状と課題」 関内隆、葛生政則、富田真、北原良夫 『東北大学高等教育開発推進センター紀要』 第2号 2007.3
- 「東北大学全学教育における授業実践・評価・改善サイクルの新たな取組—「授業実践記録」作成と「ミニットペーパー」の活用—」 関内隆、宇野忍、縄田朋樹、葛生政則、北原良夫 『東北大学高等教育開発推進センター紀要』 第2号 2007.3
- 【調査報告】** 「東北大学におけるFDの現状と課題」 坂本尚夫、荒井克弘、関内隆、縄田朋樹、葛生政則、富田真、北原良夫、宇野忍 『東北大学高等教育開発推進センター・レポート』 第13巻 2007.3
- 臼井 嘉一**
- 【著書】** シティズンシップ教育の展望 共 共 共
ルック 2006.9
- 【論文】** <日本社会科>の目的・目標と「公民的資質」 単 福島大学総合教育研究センター紀要 第2号 2007.1
- 大宮 勇雄**
- 【著書】** 保育小辞典 共著 大月書店 2006.6
- 保育の質を高める 単著 ひとつなる書房 2006.7
- 荻路 貫司**
- 【論文】** フランス継続職業養成における昇進的技師養成—Cesiによる実践的技師養成の誕生— 福島大学人間発達文化学類論集<教育・心理学> 第4号 2006.12
- 小野原雅夫**
- 【論文】** 濱田義文とカント倫理学 単著 法政哲学会編『法政哲学』 2号 2006.5
- 平和の定言命法と平和実現のための仮言命法 単著 日本カント協会編『日本カント研究』 7号 2006.9
- 「9.11」以降の人類共通の地盤を求めて 単著 2003~06年度科学研究費補助金(基盤研究B)「現代におけるグローバル・エシックス形成のための理論的研究」(研究代表者:舟場保之) 研究成果報告書 2007.3
- 【学会発表】** 9.11以降の人類共通の地盤を求めて 「9.11」を多角的に考える哲学フォーラム/グローバル・エシックス研究会 関大阪大学 2006.9

角間 陽子

- 【論 文】** 超高齢社会における世代間交流のあり方—長野市鬼無里地域での実践を通して— 田中慶子、角尾晋、草野篤子
信州大学教育学部紀要 第119号
2007.3
- デンマークにおける世代間交流に関する一考察 福島大学地域創造 第18巻第2号
2007.2
- 【調査報告】** 大学における世代間交流プログラム—実践報告および今後の課題— 世代間交流 Intergenerational Interchange 第1号
2006.6
- デンマーク教育関係者インタビュー
青木真理、谷雅泰 福島大学地域創造 第18巻第1号
2006.9
- 世代間交流の実態調査報告～京都市・神戸市のアンケート調査より～ 築山崇、黒澤祐介、草野篤子、角間陽子
福祉社会研究 第7号
2007.3
- 少子高齢社会における世代間交流—インタージェネレーション・プログラムの調査研究— 草野篤子、川村康文 平成17年度～平成18年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書 2007.3
- 【学会発表】** 少子高齢社会における世代間交流—学校での高齢者による子どもへの支援から— 共同発表(草野篤子) 日本家政学会 第58回大会 関秋田大学
2006.5
- Intergenerational Interchange at School in Japan 共同発表(草野篤子)
国際世代間交流協会第3回研究会 関ヴィクトリア大学(メルボルン)
2006.6
- 学校における世代間交流モデルの研究—高齢者による児童・生徒への教育支援— 世代間交流国際フォーラムポスター発表 関早稲田大学
2006.8

木暮 照正

- 【論 文】** 高等教育機関における生涯学習マネジメント機能について 福島大学生涯学習教育研究センター年報 第12巻
2007.3
- 【調査報告】** 平成18年度「公開講座・公開授業アンケート調査」：実施報告 福島大学生涯学習教育研究センター年報 第12巻
2007.3
- 【学会発表】** 社会的できごとの生起時期推定課題における認知スタイルの影響 日本認知心理学会(第4回大会) 関中京大学
2006.8
- 社会的できごとの生起時期推定(4)：経年比較による誤答パターンの分析

日本心理学会(第70回大会) 関福岡国際会議場
2006.11

白石 昌子

- 【論 文】** 乳幼児の発達と音楽の関係—音楽の機能が及ぼす影響についての検討を通して— 福島大学人間発達文化学類論集 第3号(教育・心理学部門)
2006
- 【学会発表】** 保育過程における音楽的活動(5) —音楽の機能からのアプローチ1— 日本保育学会 浅井学園大学
2006.5
- 保育過程における音楽的活動(6) —音楽の機能からのアプローチ2— 日本保育学会大会 関浅井学園大学
2006.5
- 昭和30年代の保育カリキュラムにおける音楽と集団形成の関係 —「年間保育計画」を中心にして— 日本音楽教育学会東北例会 関福島大学
2006.12

鈴木 庸裕

- 【論 文】** 「人と人をつなぐ人的制度的資源の創出を」 『生活指導』明治図書 629号
2006.5
- 「チーム、コーディネートの世界と学校文化」 『生活指導』明治図書 630号
2006.6
- 「学校ソーシャルワークと教育機会の保障」 『福島大学人間発達文化学類論集』3号
2006.7
- 「通常学級における発達障害児への支援に関する研究」 『福島大学総合教育研究センター紀要』第1号
2006.7
- 「専門的実践領域としての学校ソーシャルワーク」 『福島大学総合教育研究センター紀要』第1号
2006.7
- 「学校ソーシャルワークの現在・過去・未来」 『学校ソーシャルワーク研究』(日本学校ソーシャルワーク学会)創刊号
2007.3

「児童虐待をめぐるソーシャルワーカーの資質向上」 『福島大学総合教育研究センター紀要』第2号
2007.1

- 【学会発表】** 子どもの安心・安全を担う地域のコーディネーター 第25回日本生活指導学会 関大阪市立大学
2006.8
- 学校ソーシャルワークの今日的課題 第1回学校ソーシャルワーク学会 関白大学
2006.11

谷 雅泰

- 【著 書】** 保育小辞典 共著 大月書店
- 【論 文】** デンマークの教育改革 谷雅泰、青木

真理 福島大学地域創造 第18巻第2号 2007.2

- 【調査報告】 デンマーク教育関係者インタビュー
青木真理、谷雅泰、角間陽子 福島大学地域創造 第18巻第1号 2006.9
デンマークの国民学校の視察および聞き取り調査 青木真理、谷雅泰、三浦浩喜 福島大学地域創造 第18巻第2号 2007.2

千葉 桂子

- 【学会発表】 上肢動作に不自由がある場合の装身具の装着動作について (社)日本家政学会 秋田大学 2006.5

鶴巻 正子

- 【学会発表】 Acquisition of Handwriting Behavior of Chinese Characters to a Child with ADHD Association for Behavior Analysis, 32nd Annual ABA convention ①Hyatt Regency Atlanta 2006.5

中野 明德

- 【著書】 新しい実践を創造する学校カウンセリング入門 共著 東洋館出版 2007.1

- 【論文】 思春期・青年期における性教育のあり方についての一考察 遠藤紗貴子 福島大学総合教育研究センター紀要 1号 2006.7

教師のメンタルヘルス—小・中・高校教師のストレス調査から 単著 福島大学心理臨床研究 1号 2006.12

グループ活動を効果的にするためのフィードバックに関する研究 遠藤佳子 福島大学心理臨床研究 1号 2006.12

親グループに参加している母親の子どもに対する見方の変化—ロールプレイを導入して 中島朋代 福島大学心理臨床研究 1号 2006.12

- 【調査報告】 平成17(2005)年度福島大学教育学部附属臨床心理・教育相談室活動報告 青木真理、生島浩、水野薫、渡邊隆 福島大学心理臨床研究 1号 2006.12

2005年度臨床心理・教育相談室「フレンドルーム」活動報告 宮本優香、東敏之、天海久、荒川映子他10名 福島大学心理臨床研究 1号 2006.12

教育実践総合センター「教育実践研修講座」2005年度活動報告 青木真理、昼田源四郎、生島浩、鈴木庸裕、宮前貢、水野薫、渡辺隆 福島大学総合教育研究センター紀要 2号 2007.1

- 【学会発表】 カウンセリングに生かす精神分析 日

本カウンセリング学会第39回大会研修会 ①大宮ソニックシティ 2006.8

教師のストレス(その2)—小中高校教師で違いがあるのか— 日本精神衛生学会第22回大会 ①千葉県国際能力開発支援センター 2006.10

不登校カウンセリングについて 全国教育実践総合センター不登校研究会シンポジウム ①京都教育大学 2006.11

中間 玲子

- 【著書】 自己形成の心理学 単著 風間書房

- 【論文】 大学教育の議論における大学生研究の意義と視点—心理学研究の知見から— 福島大学総合教育研究センター紀要 第1号 2006.7

大学生のアイデンティティ発達における専門教育の意義について—心理学専攻の学生を対象に— pp.1-14. 京都大学高等教育研究 第12号 2006.12

- 【訳書・翻訳】 対話的自己—デカルト／ジェームズ／ミードを超えて— 共著 新曜社 2006.9

- 【学会発表】 Whose voice is saying "who am I?" : The changing process of the self during adolescence. Fourth International Conference on the Dialogical Self ①University of Minho 2006.6

自分探しの様相について(2)—人生において重視される自己の諸側面の検討から— 日本教育心理学会第48回総会 ①岡山コンベンションセンター 2006.9

対話的自己論(The Dialogical Self)の適用・発展可能性. 日本教育心理学会第48回総会 ①岡山コンベンションセンター 2006.9

青年期における自己・アイデンティティ形成過程をとらえる枠組み 日本心理学会第70回総会 ①福岡国際会議場 2006.11

〈当事者性〉が入り込まざるを得ない研究に取り組むということ—自己の対象化を要するテーマに付随する問題を乗り越えるか— 日本発達心理学会第18回大会 ①埼玉大宮ソニック 2007.3

心理学者、大学教育への挑戦7—グループ活動を含む初年次教育の実践— 第13回大学教育研究フォーラム ①京都大学 2007.3

中村 恵子

- 【論文】 小中学校における食育の指導についての

一考察 福島大学人間発達文化学類論
集 第4号 2006.12

生涯学習として必要な食の教育について
福島大学生涯学習教育研究センター年報
第12巻 2007.3

【学会発表】 加熱に伴う農産物の細胞膜構造の破壊と
物性変化 日本食品工学会 関つくば
国際会議場 2006.8

I Hヒータとガスこんろの調理特性比較
(第3報) 日本調理科学会 関岡山
県立大学 2006.9

浜島 京子

【論文】 「家庭科」、「健康教育」の教科観及び生
活実践状況 浜島京子、富田美恵子、
黒川衣代 福島大学総合教育研究セン
ター紀要 創刊号 2006.7

日本の中学生の生活実態及び教科観にみ
る家庭科教育の課題 浜島京子、富田
美恵子 東北家庭科教育研究 第5号
2006.10

生涯を通じた健康で豊かな生活に関する
検討—60歳以上の方の生活及び学習等
の実態に着目して 浜島京子、鈴木裕美
子 福島大学生涯学習教育研究セン
ター年報 第12巻 2007.3

【調査報告】 子供の生活と教育～日本の状況～ 浜
島京子 2007台湾と日本教育研究及び
発展論壇 論文集 2007.2

【学会発表】 小・中・高を通じた家庭科履修者の家庭
科観 佐々木渉、浜島京子 日本家
庭科教育学会 関筑波大学東京キャン
パス 2006.12

子供の生活と教育～日本の状況～ 浜
島京子 台東大学及び台東県政府教育
局 関台湾・台東大学 2007.2

昼田源四郎

【調査報告】 ミドルテネシー州立大学 読み書き障害
センターの地域貢献・教育・研究活動
鶴巻正子、松崎博文 福島大学地域創
造 18巻1号 2006.9

渡辺 隆

【著書】 子ども虐待と発達障害—発達障害のある
子ども虐待への援助手法 単 東洋
館出版社 2006.2

【論文】 児童虐待の類型分類と介入援助モデルに
ついて—児童相談所での身体的虐待事例
の分析を通して— 単 福祉心理学
研究 3 (1) 3 (1) 2006.5

子ども虐待の定義と類型分類に関する一
考察 —身体的虐待の類型分類と介入モ

デルについて— 単 福島大学心理
臨床研究 1 (1) 2006.12

乳幼児虐待ハイリスクスクリーニングの
有効性についての検討 単 小児の
精神と神経 46 (3) 2006.10

【調査報告】 平成17 (2005) 年度福島大学総合教育研
究センター附属臨床心理・教育相談室活
動報告 中野明德、青木真理、生島
浩、水野薫 福島大学心理臨床研究
1 (1) 2006.12

総合教育センター教育実践研究講座2005
年度活動報告 青木真理、中野明德、
昼田源四郎、生島浩、宮前貢、水野薫
福島大学総合教育センター紀要 2
2007.1

【学会発表】 乳幼児虐待ハイリスクスクリーニングの
有効性についての検討 単 日本小
児精神神経学会第95回大会 関慈恵医科
大学 2006.6

文学・芸術学系

新井 浩

【著書】 『ベーシック造形技法』96頁～103頁
「4彫刻の基礎技法2彫刻の材料と技
法」 共著 建帛社

【実技】 黄昏が見えるように 210×70×70
第80回国展彫刻部 会員 2006.4～5

蝶が舞う森 No.4 190×70×70 問い
かけるかたち展 国画会80周年記念事業
会員 2006.6

作品総数37点 個展—モノ語るかたち
展— 関おおつき画廊企画 画廊企画展
2006.5～6

蝶が舞う森 No.8 53×30×45 第28
回国展彫刻部秋季展 会員 2006.9

蝶が舞う森 No.7<放つ>他 計3点
明日の息吹 次代を担う彫刻家たち展
関日本橋三越本店 画廊企画展 2006.9

響 No.7<吹き渡る風> 40×30×30
京都清水寺「現代彫刻の祈り」展
関京都清水寺経堂 会員選抜展
2006.10

思い出が還る処<ネックレス> 160×
57×40 第10回記念那須野が原国際彫
刻シンポジウム展覧会 関大田原市ふれ
あいの丘 招待 2006.11

風待ち 20.5×6.5×14 YEAR END
EXHIBITION OF MINI-SCULPTURE
関ギャラリーせいほう 画廊企画展
2006.12

井実 充史

【論 文】 風景の構造化 国文学研究 第151集
2007.3

【書 評】 松浦友久著『日本上代漢詩文論考 松浦
友久著作選Ⅲ』 平安朝文学研究 復
刊第15号 2007.3

片野 一

【実 技】 木工作品「ひっそりと」 第28回日本
新工芸展 罔上野の森美術館 会員とし
て 2006.6

木工芸作品「帰るころ」 第24回新工
芸東北会 罔仙台メディアテーク 会員
として 2006.7

木工芸作品「方形寄木造菓子器」 第
24回新工芸東北会 罔仙台メディアテーク
2006.7

木工芸作品「風にのって」 第60回福
島県総合美術展 罔福島市文化センター
審査委員 2006.6

勝倉 壽一

【論 文】 『本朝二十不孝』『親子五人書置如件』
の解釈 福島大学人間発達文化学類論
集 第3号 2006.6

『懐硯』『案内しつてむかしの寝所』の
解釈 解釈 第52巻9・10号
2006.9・10

金谷 昌治

【実 技】 東京ハルモニア室内オーケストラ第32回
定期演奏会 東京ハルモニア室内オー
ケストラ/日本室内オーケストラ協議会
罔東京文化会館小ホール 2006.5

東京ハルモニア室内オーケストラ第33回
定期演奏会 東京ハルモニア室内オー
ケストラ/日本室内オーケストラ協議会
罔東京文化会館小ホール 2006.10

第23回箱根の秋音楽祭 東京ハルモニ
ア室内オーケストラ 罔箱根千石原文化
センター 2006.11

セミナーレカメラータ第6回演奏会
セミナーレカメラータ 罔福島テルサ
FTホール 2007.2

躍る心と音楽と カリタス埼玉 罔浦
和区埼玉会館小ホール

澤 正宏

【著 書】 歌集・虫に聞け、草に聞け 単著
日本図書センター 2006.11

【論 文】 里村欣三の文学 単著 『言文』
第53号 2006.3

西脇順三郎の詩を読む 単著 福島
大学人間発達文化学類論集 第4号
2006.12

澁澤 尚

【論 文】 『列子』における古帝王の楽園訪問譚に
ついて 立命館文学「清水凱夫教授退
職記念論集」 598号 2007.2

【学会発表】 孔穴名の源流—崑崙と明堂— 日本鍼
灸史学会第14回学術大会 罔京都市国際
交流会館 2006.11

嶋津 武仁

【実 技】 トランペットによる日本舞踊のための音
楽「きざし」 西川祐子（日本舞踊
「祐子の会」） 罔紀尾井ホール、東京
2006.12

【作品発表】 弦楽オーケストラのための「2つのシー
ン」 プロツワフ室内楽音楽祭 罔ブ
ロツワフ武器庫博物館、ポーランド
2006.7

交響的変容「風のごとく」 オーケス
トラ・フィルジッヒ第3回演奏会 罔福
島市音楽堂 2006.12

高野 保夫

【論 文】 一枚ポートフォリオを活用した国語科
授業づくり 東書Eネット 2006.6

小中一貫教育と国語科カリキュラム開発
の課題 言文 54号 2007.3

中川 祐治

【論 文】 「いかにも」の語史—副詞の文法化の
—類型— 国文学攷 192・193合併号
2007.3

中畑 淳

【著 書】 生成を原理とする21世紀音楽カリキュラ
ム 共著 東京書籍

【実 技】 ピアノリサイタル（独奏会） 中畑淳
ピアノリサイタル（罔東京文化会館）演
奏会評2誌 インタビュー1誌 2006.9

平田 公子

【学会発表】 明治20年代の日本音楽観—東京音楽学校
存廃論争を中心にして— 2006年度日
本音楽教育学会東北地区例会 罔福島大
学 2006.12.9

渡邊 晃一

【著 書】 『ART FIELD —芸術の宇宙誌—03—』
共著 COAC 現代芸術研究所

『ベーシック造形技法』 共著 建
帛社

- 【論文】** 「美術教育の「専門性」と研究論文の制作学的考察」 単著 美術科教育学会誌 第27号 2007.3
現代美術における「制作」と「発表」との関係について 共著 廣川豪 生涯学習センター紀要 2007.3
- 【調査報告】** 「美術家 渡辺晃一の仕事」 NHK放送/東北全域 2006.7
「地域文化と現代美術」 地域創造 2006.3
- 【学会発表】** 解剖模型と「型取り」からの一考察 単 美術解剖学会 関東京藝術大学 2006.7
「今日の大学と地域文化」 シンポジウム 美術科教育学会公開シンポジウム 関福島県文化センター 2006.10
「発表との関わりからの制作学的考察一」 共 美術科教育学会 関金沢大学 2007.3
「Performance Artの現在形」 単 美術科教育学会 関金沢大学 2007.3
- 【実 技】** Life Hands 5点 個展 美術研究所 Δ (デルタ開館記念展) 関美術研究所 Δ 2006.4
「Nude」7点 グループ 『国際交流展』 関アートギャラリーつくば 2006.4~5
「ルーヴルのモナリザ」 グループ 『MonaLiza⇔Jokonda』 関福島テルサ 2006.6
「On An Earth 01」3点 グループ ART WAVE TSUKUBA 関茨城県つくば美術館 2006.6
「ダナエ 平山素子」 個展 『Danae×平山素子』 関銀座コバヤシ画廊 2006.7
「ガラスケースの平山素子」 グループ 『福島現代美術ビエンナーレ2006』 関福島県文化センター 2006.9~10
「On An Earth」2点 グループ 『空の貌』 関おおつき画廊 2006.10
「大野一雄」3点 グループ 『花咲く瞬間(とき) 大野一雄』 関福島市写真美術館 2006.12
「大野一雄」12点 グループ 『花咲く瞬間(とき) 大野一雄』 関ギャラリーブラット 2006.12
「mon Alice」他 2点 グループ 『My Alice展』 関銀座あかね画廊
- 2007.2
講演会 「現代美術作家に学ぶ表現」 関神奈川県教育センター 2006.8
講演会 「からだ単語帳 -「立つ」美術」 関神奈川県立美術館 2006.8
講演会 「Life Drawing」 関ふれあい科学館 2006.11
- 【書 評】** 「文化 福島」 福島県文化振興事業団発行 2006.9

健康・運動学系

新谷 崇一

- 【論文】** 「ニュースポーツから近代スポーツを超越した木球への発展～木球に関する国際アンケート調査を手がかりに～」 平野泰宏、新谷崇一、周仲忽 福島大学地域創造 第18巻 第2号 2007.2

小川 宏

- 【調査報告】** 福島大学学生の「身体リテラシー」に関する実態調査一第2報 平成17年度前期・後期調査結果の検討一 新谷崇一他14名 福島大学研究年報 第2号 2007

川本 和久

- 【学会発表】** 女性アスリートのトレーニング 日本陸上学会 日本女子体育大学 2006.9
- 【実 技】** 池田久美子：走幅跳 国際グランプリ大阪大会 1位 日本記録 関大阪 2006.5
丹野麻美：400m 第75回日本学生対校選手権 1位 関東京 2006.6
青木沙弥佳：400m 第76回日本学生対校選手権 2位 関東京 2006.6
熊谷史子：100mH 第77回日本学生対校選手権 2位 関東京 2006.6
長島夏子：100m 第78回日本学生対校選手権 2位 関東京 2006.6
栗本佳世子：100m 第79回日本学生対校選手権 3位 関東京 2006.6
福島大学：4×100mR 第80回日本学生対校選手権 1位 日本学生記録 関東京 2006.6
青木沙弥佳：400mH 第81回日本学生対校選手権 1位 関東京 2006.6
丹野麻美：200m 第81回日本学生対校選手権 1位 関東京 2006.6
福島大学：4×400mR 第82回日本学

- 生対校選手権 1位 関東京 2006.6
 福島大学：女子総合 第83回日本学生対校選手権 2位 関東京 2006.6
 福島大学：女子トラック 第84回日本学生対校選手権 1位 関東京 2006.6
 福島大学：多種目優勝 第85回日本学生対校選手権 1位 関東京 2006.6
 熊谷史子：100mH 第90回日本選手権 2位 関神戸 2006.6
 久保倉里美：400m 第90回日本選手権 1位 関神戸 2006.7
 木田真有：400m 第90回日本選手権 2位 関神戸 2006.7
 竹内昌子：400m 第90回日本選手権 3位 関神戸 2006.7
 吉田真希子：400mH 第90回日本選手権 1位 関神戸 2006.7
 久保倉里美：400mH 第90回日本選手権 2位 神戸 2006.7
 青木沙弥佳：400mH 第90回日本選手権 3位 神戸 2006.7
 池田久美子：走幅跳 第90回日本選手権 1位 神戸 2006.7
 松田薫：100m 06全日本学生チャンピオンシップ 1位 関平塚 2006.9
 瓜生朱音：1500m 06全日本学生チャンピオンシップ 3位 関平塚 2006.9
 金田一菜可：400mH 06全日本学生チャンピオンシップ 3位 関平塚 2006.9
 松田薫：200m 06全日本学生チャンピオンシップ 2位 関平塚 2006.9
 瓜生朱音：800m 06全日本学生チャンピオンシップ 2位 関平塚 2006.9
 池田久美子：100mH 第61回国民体育大会 1位 関神戸 2006.10
 熊谷史子：100mH 第61回国民体育大会 3位 関神戸 2006.10
 丹野麻美：400m 第61回国民体育大会 1位 関神戸 2006.10
 久保倉里美：400m 第61回国民体育大会 2位 関神戸 2006.10
 青木沙弥佳：400m 第61回国民体育大会 3位 関神戸 2006.10
 吉田真希子：800m 第61回国民体育大会 2位 関神戸 2006.10
 栗本佳世子：スエーデン R 第46回実業団対学生対抗 日本記録 関小田原 2006.10
 青木沙弥佳：スエーデン R 第46回実業団対学生対抗 日本記録 関小田原 2006.10
 丹野麻美：スエーデン R 第46回実業団対学生対抗 日本記録 関小田原 2006.10
 福島大学：4×100mR 第90回日本選手権 1位 日本学生記録 関横浜 2006.10
 福島大学：4×400mR 第90回日本選手権 1位 関横浜 2006.10
 丹野麻美：400m 第15回アジア大会 銅メダル 関ドーハ 2006.12
 木田真有：400m 第15回アジア大会 7位 関ドーハ 2006.12
 久保倉里美：400mH 第15回アジア大会 銀メダル 関ドーハ 2006.12
 吉田真希子：400mH 第15回アジア大会 7位 関ドーハ 2006.12
 池田久美子：走幅跳 第15回アジア大会 金メダル 関ドーハ 2006.12
 木田真有：4×400mR 第15回アジア大会 4位 関ドーハ 2006.12
 久保倉里美：4×400mR 第15回アジア大会 4位 関ドーハ 2006.12
 丹野麻美：4×400mR 第15回アジア大会 4位 関ドーハ 2006.12
 竹内昌子：4×400mR 第15回アジア大会 4位 関ドーハ 2006.12
- 黒須 充**
- 【著 書】 現代スポーツのパースペクティブ 共著 大修館書店 pp124-pp140 2006.6
 スポーツプロモーション論 共著 明和出版 pp50-66 2006.4
 子どもの未来を拓け 学校体育 共著 アイオーエム pp207-pp224 2007.2
- 【論 文】 Jugendfussballer in Japan und Deutschland , Das Wissenschaftsmagazin der Deutschen Sporthochschule Koeln, pp16-21 2006.6
- 【調査報告】 総合型地域スポーツクラブを基盤とした地域振興のあり方 月刊 自治フォーラム 2006年4月号 Vol.559 2006.4
 地域で創る豊かなスポーツ環境 月刊

体育施設 2006年4月号 2006.4

【学会発表】 総合型地域スポーツクラブの社会的効果について 日本体育学会第57回大会
 関弘前大学 2006.8

社会の発展に貢献するスポーツクラブ
 生涯スポーツコンベンション2006 関ホ
 テルハマツ 2007.1

坂上 康博

【書 評】 福田宏『身体の国民化—多極化するチェ
 コ社会と体操運動』 『スポーツ社会
 学研究』 第15巻 2007.3

佐々木武人

【論 文】 武道の特性を応用した精神障害者への運
 動療法の可能性について Brad
 Binder 日本スポーツ精神医学会雑誌
 「スポーツ精神医学」 Vol.3 2006.9

The Meaning and Rule of Budo (The
 Martial Arts) in Japanese School Ar-
 chive of Budo (Poland) Vol.2 2006.9

【学会発表】 The Meaning and Rule of Budo (The
 Martial Arts) in Japanese School The
 1st World congress of Combative Sports
 and Martial Arts 関Rzeszow University
 in Poland 2006.9

【実 技】 全国柔道高段者大会 引き分け 関助
 講道館 2006.4

白石 豊

【著 書】 CD版「メンタルトレーニング講座」
 全15巻 単 クレームージャパン

杉浦 弘一

【実 技】 福島大学女子バスケットボール部（ヘッ
 ドコーチ） 第7回東北学生バスケット
 ボールリーグ 第6位 2006.9~10

福島県成年女子選抜（バスケットボール
 競技）監督 平成18年度東北総合体育
 大会（バスケットボール競技） 第3位
 2006.8

鈴木裕美子

【論 文】 生涯を通じた健康で豊かな生活に関する
 検討—「60歳以上」の方の生活及び学習
 等の実態に着目して— 浜島京子
 福島大学生涯学習教育研究センター年報
 第12巻 2007.3

【調査報告】 生涯学習におけるダンス—地域主催の行
 事におけるアトラクションとして—
 福島大学生涯学習教育研究センター年報
 第12巻 2007.3

【学会発表】 生涯学習におけるダンス—地域主催の行
 事におけるアトラクションとして—

舞踊学会 関専修大学 2006.12

森 知高

【論 文】 「コミュニケーション力」を高める学校
 体育 吉田明史 福島県保健体育学
 研究 第18号 2007.3

【調査報告】 運動身体づくりプログラム 森知高、
 菅家礼子、小川宏 菅家礼子、小川宏
 福島県教育委員会発行 2006.8

外国語・外国文化学系

飯嶋 良太

【書 評】 Rodney Koenek, Empires of the Mind:
 I.A.Richards and Basic English in China
 Graded Direct Method Association of Ja-
 pan News Bulletin No.58 2006.6

池澤 實芳

【著 書】 雷石楡 戦地房東（戦地房東） 単
 白帝社 2006.12

井本 亮

【論 文】 「～める, ～まる」をめぐって：予備的
 考察 『科学研究費補助金（基盤研究
 (C)）研究成果報告書—文法理論の諸
 言語現象への適切な適用にむけてⅡ』
 2007.3

有生性の実在性をめぐって（2）—有生
 性を検出するための有効な刺激文の策定—
 阿部二郎、石田尊、井本亮、川野
 靖子、富樫純一、半田達郎、福嶋健伸、
 福盛貴弘、茂木俊伸（主著者：井本亮）
 『科学研究費補助金（基盤研究（C））
 研究成果報告書—文法理論の諸言語現象
 への適切な適用にむけてⅡ』 2007.3

有生性の実在性をめぐって（1）—事象
 関連電位を用いた検証方法— 福盛貴
 弘、井本亮、半田達郎、阿部二郎、石田
 尊、川野靖子、富樫純一、福嶋健伸、茂
 木俊伸（主著者：福盛貴弘） 『科学
 研究費補助金（基盤研究（C））研究成
 果報告書—文法理論の諸言語現象への適
 切な適用にむけてⅡ』 2007.3

【学会発表】 限界性と段階性：形容詞派生動詞「～め
 る, ～まる」第90回関東日本語談話会」を
 めぐって 関学院女子大学 2007.1

日本語の degree achievement について
 関筑波大学 2006.10

衛藤 安治

【学会発表】 「ペーオウルフ」における動詞weordian
 の意味をめぐって 日本中世英語英文
 学会 関京都産業大学 2006.12

霜鳥 慶邦

【学会発表】 「ファッション的文化的文化、ヴァーグナー文化、ロレンス」(ワークショップ:「ロレンスとファッション的文化的文化」) 日本ロレンス協会第37回大会 関慶應義塾大学日吉校舎 2006.6

「ロレンス、サルディーニャ、(反) ツーリズム—『海とサルデーニャ』の記号世界を旅する」 東北英文学会第61回大会 関東北大学 2006.11

久我 和巳

【論 文】 イラン映画の女たち—フォルグ・ファッロフザードの場合— 単著 行政社会論集 第19巻第2号 2006.10

九頭見和夫

【論 文】 1.江戸時代の「人魚」像(2)—博物学の舶来を中心として— 単著 福島大学人間発達文化学類論集 第3号 2006.6

2.江戸時代以前の「人魚」像—日本における「人魚」 単著 福島大学人間発達文化学類論集 第4号 2006.12

3.像の原点へのアプローチ—「公開講座」と生涯学習—受講者との接点を求めて 単著 福島大学生涯学習教育研究センター 第12巻 2007.3

佐久間康之

【論 文】 音韻的ワーキングメモリにおける英語の母語話者と日本人学習者の記憶表象に関する比較研究 単著 言葉の絆—藤原保明博士還暦記念論文集(開拓社) 2006.10

根本 典子

【論 文】 動詞kickの用法とフレーム意味論的知識 言葉の絆 藤原保明博士還暦記念論文集 2006.10

林 修

【著 書】 Marguerite Yourcenar Citoyenne du Monde 共著 SIEY (France)

La Escritura del Yo en la Obra de Marguerite Yourcenar, 共著 Corcas Editores (Colombia)

【訳書・翻訳】 ミテキドー著「パリオペラ座のパレリーナ」 単訳 新書館出版 2007.2

福富 靖之

【著 書】 言葉の絆—藤原保明博士還暦記念論文集 "An Antisymmetric Analysis of Japanese Right Dislocation" 312—325頁 共著 開拓社

英語と文法と—鈴木英一教授還暦記念論文集 "Japanese Wh-Scope Marking as Left Dislocation: A Preliminary Study" 279—290頁 共著 開拓社

【論 文】 Japanese Wh-Scope Marking as Left Dislocation proceedings of the Workshop on Concord and the Syntax Semantics Interface 2006.8

Japanese Alternative Questions and Intervention Effects in DP Minimalist Views on Language Design: Proceedings of the 8th Seoul International Conference On Generative Grammar 2006.8

【学会発表】 Japanese Wh-Scope as Left Dislocation Concord Phenomena and the Syntax Semantics Interface 関University of Malaga 2006.8

Japanese Alternative Questions and Intervention Effects in DP 8th Seoul International Conference On Generative Grammar 関Sookmyung Women's University 2006.8

Japanese Alternative Questions and Intervention Effects in DP International Conference on East Asian Linguistics 関University of Toronto 2006.11

松浦 浩子

【著 書】 New Essential Listening to the TOEIC Test 共著 金星堂 THE TOEIC TEST TRAINER Target 650 共著 トムソン・ラーニング

【論 文】 Compliment Response Styles Most Favored by Japanese EFL Students 商学論集 75巻4号 2007.3

【学会発表】 Compliment Judgment: The Case of Hong Kong Students Listening to Japanese English IAWE 2006 関名古屋 2006.10

真歩仁しょうん

【著 書】 New Essential Listening for the TOEIC Test 共著 (ファーストアース) 金星堂 2007.3

法律・政治学系**金井 光生**

【著 書】 社会国家・中間団体・市民権 共著 法政大学出版局

憲法判例百選Ⅰ(第5版) 共著 有斐閣

- 【学会発表】 いま、新たにホームズを読み直すこと
日米法学会 国法政大学 2006.9

高瀬 雅男

- 【論 文】 農業協同組合とクレイトン法 行政社
会論集 19巻3号58-104頁 2007.2

中井 勝己

- 【著 書】 レクチャー環境法 共著 法律文化
社 2006.7

中里見 博

- 【著 書】 フロンティア法学 (第2版) 共著
法律文化社

ポルノグラフィと性暴力—新たな法規制
を求めて 単著 明石書店

- 【論 文】 ジェンダー法学のジェンダー分析—支配
アプローチに向けた序論的考察 名古屋
大学法政論集 213号 2006.9

家族が担う「公」と「私」—親密圏への
法的介入 法の科学 37号 2006.11

性売買とジェンダー法学 法と民主主
義 414号 2006.12

ポスト・ジェンダー期の女性の性売買—
性に関する人権の再定義 社会科学研
究 58巻2号 2007.2

性売買禁止・規制法の強化に向けて
婦人新報 1278号 2007.3

性売買とジェンダー法学 法と民主主
義 414号 2006.12

- 【書 評】 三成美保著『ジェンダーの法史学—近代
ドイツの家族とセクシュアリティ』
法の科学 37号 2006.11

社会・歴史学系

浅岡 善治

- 【著 書】 『20世紀ロシア農民史』 共著 (奥田
央編) 社会評論社

- 【学会発表】 「権力と大衆—初期ソヴィエト史再検討
の素材としての大衆の投書」 福島大
学史学会 福島大学 2006.12

- 【書 評】 「2005年の歴史学界—回顧と展望— ヨ
ーロッパ (現代—ロシア・東欧・北欧)」
『史学雑誌』 第115編第5号 2006.5

阿部 成治

- 【論 文】 ドルトムントにおけるFプラン策定時の
提出意見とその扱いに関する研究 日
本都市計画学会論文集 41-3号
2006.11

郊外大型店出店許可プロセスにおける審
議会等の役割に関する課題 吉武哲
信、出口近士、梶原文男 日本都市計
画学会論文集 41-3号 2006.11

- 【調査報告】 駅ナカと郊外大型店の「課税格差」
エコノミスト 第84巻第32号 2006.6

- 【学会発表】 住宅の広さに対する満足度の地方格差と
生活形態 日本建築学会 国神奈川大
学 2006.9

高橋 準

- 【著 書】 地球情報社会と社会運動 共著 ハ
ーベスト社

幻想文学、近代の魔界へ 共著 青
弓社

ジェンダー学への道案内 単著 北
樹出版

- 【調査報告】 ラジオ放送とジェンダー 羽田和泉
行政社会論集 19巻4号 2007.3

丹波 史紀

- 【論 文】 「貧困・低所得者層に対する自立支援プ
ログラムの政策動向」 『東北の社会
福祉研究』 2号 2006.7

- 【学会発表】 「母子家庭と自立」 社会政策学会第
113回秋季大会 国大分大学 2006.10

千葉 悦子

- 【著 書】 地域における教育と農 (村落社会研究年
報-42) 共著 農文協

- 【論 文】 社会教育におけるジェンダー平等への取
り組み 月刊社会教育 第51巻3号
2007.3

社会教育 女性白書 2006.8

- 【調査報告】 「指定管理者制度」について思うこと
文化福島 No.407 2007.8

中辻 享

- 【論 文】 高地と低地のいいところ取り—ラオス焼畑
民の土地利用戦略 地理 51 (12)
2006.12

- 【学会発表】 ラオスにおける集落再編にともなう移住
と生計活動の変化 日本地理学会
国東洋大学 2007.3

牧田 実

- 【論 文】 地域共同管理と「公共性」—沖縄県宜
野湾市の事例をとおして 『コミュニ
ティ政策』 第4号 2006.7

- 【学会発表】 自治省モデルコミュニティ地区の検証—
武蔵野市西久保地区 (「わが国コミュニ
ティ政策の総括」第四報告) コミュ

ニティ政策学会第5回大会 関帝塚山大
学 2006.7

経済学系

阿部 高樹

【調査報告】 「ホッキ貝漁業にみる水産資源管理—いわき市漁協四倉支所、相馬双葉漁協磯部支所、鹿島支所のケースより—」 東田啓作、小島彰、井上健 『福島大学地域創造』 第18巻第1号 2006.9

「ホッキ貝漁業における水産資源管理—青森県北浜地区4漁協（八戸市みなと、市川、百石町、三沢市）の事例—」 小島彰、井上健 『福島大学研究年報』 第2号 2006.12

伊部 正之

【著 書】 戦後謀略事件の背景と下山・三鷹・松川事件 単著 福島県松川運動記念会 2006.9

【論 文】 松川運動から何を学ぶか セミナー（J R 東労組） 96号 2007.2

大野 正智

【論 文】 On the determinants of exporters' currency pricing: History vs. expectations-Shin-ichi Fukuda Journal of the Japanese International Economies Vol. 20 2006.12

タイの輸出における契約通貨の状況について 単著 商学論集 75巻4号 2007.3

【学会発表】 「貿易統計」を利用した契約通貨の検証 現代経済学研究会 関東北大学 2006.10

熊沢 透

【著 書】 『臨床に必要な社会保障』 共著 弘文堂 2006.12

【書 評】 木村保茂・永田万享著『転換期の人材育成システム』 社会政策学会誌『社会政策における就労と福祉』 代16号 2006.9

熊本 尚雄

【論 文】 為替相場のボラティリティが国際貿易に及ぼす影響—韓国の場合— 熊本方雄 東京経大会誌 第251号 2006.10

Currency Substitution, Network Externalities and Ratchet Effects 熊本方雄 Discussion Paper Series (The Economic Society of Fukushima University) No. 44

2006.12

ウルグアイにおける通貨代替の実証分析 Discussion Paper Series (The Economic Society of Fukushima University) No. 45 2006.12

The Recent Experience of Currency Substitution in Latin America Discussion Paper Series (The Economic Society of Fukushima University) No. 46 2006.12

メキシコにおける通貨代替 熊本方雄 東京経大会誌 第253号 2007.3

小島 彰

【調査報告】 ホッキ貝漁業における水産資源管理—青森県北浜地区4漁協の事例— 阿部高樹、井上健 福島大学研究年報 第2号 2006.12

小山 良太

【論 文】 Characteristics of Japanese Agricultural Cooperatives with special reference to institution and members' attitudes Kuniyuki KOBAYASHI Journal of Commerce, Economics and Economic History (THE SHOGAKU RONSHU) Vol. 75, No. 4 2007.3

農村における少子高齢化の実態と農協組織運営へ影響—福島県農協における組織対策の課題— 『協同組合研究』 第26巻第1号（通巻73号） 2007.2

北海道における農業生産法人の地域的展開に関する研究 地域創造 第18巻第2号 2007.2

農協運動・組合員組織対策の特徴と課題 『農業・農協問題研究』 第36号 2007.1

【調査報告】 伊南地区における『農村』産業の振興と実践課題 清水修二、守友裕一 『伊南地区活性化まちづくり事業平成18年度報告書』 2007.3

財務諸表からみた経営上の問題点の発見方法 志賀永一 『軽種馬経営財務管理指導用教本』 中央畜産会 2007.3

JA大会にみる准組合員加入促進対策の特徴と課題 糸山健介 『道内農協における准組合員加入促進のための取り組み事例と問題点』 北海道地域農業研究所 2007.3

人口減少社会の中でのJA組織・事業・財務の拡充・拡大対策 『JA利用者意向調査報告書』 JA 福島中央会 2006.7

福島県における農協の「地域」対策
『事業基盤の強化に向けた准組合員対策
の現状と改善方向』北海道地域農業研究
所 2006.4

【学会発表】 「農村における少子高齢化の実態と農協
組織運営へ影響—福島県農協における組
織対策の課題—」 日本協同組合学会
圏新潟大学 2006.10

「経営所得安定対策と集落営農の課題」
東北農業経済学会 圏福島大学 2006.8

【書 評】 福島県立博物館『馬と人との年代記（ク
ロニクル）』訪問記 『Hippophile』 No.
26 2006.10

真田 哲也

【学会発表】 アフガン・イラク侵攻・占領の提起する
理論的諸問題 経済理論学会 圏愛知
大学 2006.10

佐野 孝治

【論 文】 韓国济州島における柑橘生産・流通の
『構造調整』 『韓国経済研究』 Vol. 6
2006.8

清水 修二

【論 文】 農村自治体の自立への展望—羽後町
自治と分権 24号 2006.7

地方広域合併都市の財政問題—関市
自治と分権 25号 2007.1

地方都市近郊住宅団地の空洞化問題
福島大学地域創造 18巻1号 2007.1

地方自治体の入札制度改革の課題 福
島大学地域創造 18巻2号 2007.3

【調査報告】 伊南地区活性化まちづくり事業平成18年
度報告書 2007.3

蓬萊中心施設（西棟）調査研究事業報告
書 2007.1

【学会発表】 地方広域都市の行財政 日本地域経済
学会 圏福島市 2007.1

【書 評】 町田俊彦他著「平成大合併の財政学」
福島大学地域創造 18巻1号 2006.9

下平尾勲著「地元学のすすめ」 福島
大学地域創造 18巻1号 2006.9

菅沼 圭輔

【学会発表】 中国農政の転換と兼業農家支援体制の再
構築 単著 農業問題研究学会
圏沖縄国際大学 2007.3

十河 利明

【訳書・翻訳】 2006米国経済白書 共訳 毎日新聞
社エコノミスト 第84巻第26号 2006.5

中川 弘

【調査報告】 最終講義録「私の経済学研究—初期マル
クス・エンゲルスの思想と『資本論』」
商学論集 第75巻第2号 2007.3

沼田 大輔

【論 文】 デポジット制度は製品需要に影響を与え
るか—アメリカのビール消費データを用
いた実証分析— 環境科学会誌 第19
巻第5号 2006.9

アメリカにおける鉛バッテリーデポジッ
ト制度の現状と課題 公共研究 第3
巻第2号 2006.9

【学会発表】 デポジット制度に対する供給側の抵抗を
どう緩和するか 単著 日本地域学
会2006年大会 圏千葉商科大学
2006.10

Economic Analysis of Deposit-Refund
Systems with Measures for Mitigating
Negative Impacts on Suppliers 単著
Third World Congress of Environmental
and Resource Economists (第3回環
境経済学世界大会) 圏国立京都国際会
館 2006.7

初沢 敏生

【著 書】 地域産業の再生と雇用・人材 共
日本評論社

日本から見た世界の諸地域（新版）
共 原書房

地理教育用語技能事典 共 帝国書
院

【論 文】 北海道在住陶芸作家の独立までの「学
習」の特徴 北海道地理 81号
2006.7

福島県土湯こけし産地の存立基盤の変化
福島大学研究年報 2号 2006.12

地域産業振興と行政の役割 地域創造
18巻2号 2007.2

【調査報告】 伝統的産業の集積地域における持続的生
産システムに関する研究 科学研究費
報告書

【学会発表】 新庄亀綾織復興の社会的基盤 服飾文
化学会 圏同志社女子大学（京都市）
2006.5

陶磁器産地における「伝統」に関する一
考察 東北地理学会 圏戦災復興記念
館（仙台市） 2006.5

福島大学教育学部における地理教育実践
報告 立正地理学会 圏立正大学（熊
谷市） 2006.6

自由研究発表第9部会においてコメント
ーターを務める 日本生活科・総合的
学習教育学会 圏富山大学附属小学校
(富山市) 2006.6

研究授業にて問題提起者を務める 日
本教育方法学会 圏福島大学附属小学校
(福島市) 2006.9

地場産業研究における地域的産業存立基
盤に関する論点整理 東北地理学会
圏新潟情報大学(新潟市) 2006.10

四日市萬古焼振興に公的機関の果たした
役割 福島地理学会 圏ホテルバーデ
ン(郡山市) 2006.10

工芸品産地の存立基盤に関する一考察
人文地理学会 圏大阪経済大学(大阪市)
2006.12

藤本 典嗣

【論 文】 Characteristic and Hierarchy of Livi-
hood Spheres ? Analysis of Office Loca-
tion in the "Double-Layered System of
Wide Areas" 山崎朗 都市地理学
会年報(日本都市地理学会) 第1号第
1巻 2006.4

都心空洞化と名古屋市のオフィス立地変
動(2000-2005)-本店経済と支店経済
のはざままで- 中部財界(中部財界社)
6月号 2006.5

仏教寺院の全国的立地と曹洞宗寺院の地
域的分布-2005年都道府県別立地特化度
を中心に- 仏教経済研究(駒澤大学
仏教経済研究所) 第35号 2006.6

大企業の事業所立地と生活圏域の階層性
(2000-2003)-上場企業の本社・支所の
圏域別集積状況 山崎朗 産能短期
大学紀要(産能短期大学) 第39号
2006.8

【学会発表】 生活圏域の階層性と特質-中国地方の生
活圏域における事業所立地分析 日本
計画行政学会中国支部第21回大会 圏広
島大学 2006.6

森 良次

【論 文】 前三月革命期バーデンの小営業政策と
「社会問題」 「商学論集」(福島大
学) 第75巻第1号 2006.10

【学会発表】 前三月革命期バーデンの小営業政策と
「社会問題」 経済空間史研究会
圏ウェルネスパーク「浜千鳥」(兵庫
県洲本市) 2006.4

19世紀ドイツ中間層政策のバーデン,
ヴェルテンベルクの基盤 社会経済史
学会東北部会 圏東北大学文系総合棟

2006.7

経営学系

飯田 史彦

【著 書】 生きがいの創造(決定版) 単著
PHP研究所

永遠の希望 単著 PHP研究所

【学会発表】 生きがいの創造 日本・脳腫瘍の外科
学会 圏大阪市立大学 2006.12

遠藤 明子

【学会発表】 日本のアパレル産業における流通取引制
度の再検討 日本商業学会全国大会
圏横浜国立大学 2006.6

川上 昌直

【学会発表】 ビジネスモデルからみた韓国映画産業
国際ビジネス研究学会 圏早稲田大学
2006.11

衣川 修平

【著 書】 減損会計の税務論点 共著 中央経
済社

櫻田 涼子

【論 文】 組織フラット化に伴う新たな「階層化」
現象の発生 [共著] 上林憲雄『国民
経済雑誌』 第195巻第3号 2007.3

【学会発表】 キャリアのプラトリー化とインセンティブ
構造の変容 日本労務学会第36回全国
大会 圏愛知学院大学 2006.7

組織フラット化に伴うインセンティブ構
造の変容-キャリア・プラトリー現象を通
じて- 日本経営学会第80回全国大会
圏慶應義塾大学 2006.9

高山 清治

【書 評】 書評 五十嵐邦正著『会計理論と商法・
倒産法』 『産業経理』 第66巻第2
号85-87頁 2006.7

西川 和明

【論 文】 人口減・少子高齢化時代における地域経
済活性化について 「福島の進路」
福島経済研究所 No.288 2006.8

【調査報告】 外国人の目から見た福島県の観光資源に
関する調査報告 2007.3

村田 英治

【論 文】 残余持分説と現代会計 商学論集(福
島大学) 75巻1号 2006.10

主体としてのエンティティ、客体として
のエンティティ 産業経理 66巻3号

- 2006.10
【学会発表】 会計主体論の再構築 日本会計研究学会 関専修大学 2006.9

山浦廣海

- 【著 書】** 国際商取引事典 共著 中央経済社
【論 文】 ホンコン閣僚会議とWTOの抜本改革 貿易と関税 第54巻第5号 2006.5
 混迷するFTA網と東アジア経済共同体形成プロセスの再構築 貿易と関税 第54巻第7号 2006.7
 ドーハ開発アジェンダの交渉中断とWTO交渉の再建 貿易と関税 第54巻第9号 2006.9
【学会発表】 東アジア経済共同体の形成と段階的WTO統合 アジア市場経済学会 関近畿大学 2006.7

数理・情報学系

石岡 賢

- 【著 書】** マーケティング・コミュニケーション大辞典 共著 宣伝会議
【学会発表】 Strategies for Competing in the Innovative Products Market The 15th International Association for Management of Technology, IAMOT 関Beijing, China 2006.5
 Strategic Product Development for Innovative Product Market: The Case of the Japanese Digital Camera Market The 13th International Product Development Management Conference, IPDMC 関Milan, Italy 2006.6
 Competitive Strategies for the Innovative Product Market: The case of digital camera industry The 11th Annual International Conference on Industrial Engineering Theory, Applications & Practice, IJIE 関Nagoya, Japan 2006.10
 A Study on Market Oriented Innovation in Technology Products The 7th Asian Pacific Industrial Engineering and Management Systems Conference, APIEMS 関Bangkok, Thailand 2006.12

神長 裕明

- 【学会発表】** 異種電子ドキュメントからの話題抽出手法の提案 電子情報通信学会, 教育工学会研究会, 技術研究報告 関高知工科大学 2007.3

情報活用目的に応じた電子ドキュメント群からの話題抽出手法の提案 平成18年度情報処理学会東北支部研究会 関会津大学+G18 2007.1

篠田 伸夫

- 【論 文】** ログから探る ssh 辞書攻撃の動向 単著 福島大学総合情報処理センター広報 Vol.4,35-40. 2006.12
 情報セキュリティ教育の必要性 単著 日本産業技術教育学会東北支部研究論文集 Vol.1,37-40 2007.1
【調査報告】 地域アドバイザー最終報告 単著 平成18年度文部科学省委託事業「ネットワーク配信コンテンツ活用推進事業」成果報告会資料 137-138 2007.3

董 彦文

- 【論 文】** 事例ベース推論を用いた取引先信用評価システム 日本経営工学会論文誌 Vol.57, No.2, pp.144-152 2006.6
 Development of a Customer Credit Evaluation System via Case-Based Reasoning Approach Proceedings of The 8th International Conference on Industrial Management pp.314-319, Qing Dao, China 2006.9
 Comparison of Three Possibilistic Programming Models for Vehicle Routing Problem with Fuzzy Demands Proceedings of International Workshop on Institutional View of SCM (ISCM 2006) pp.248-256, Tokyo, Japan 2006.11
 ファジィ運行時間とサービス時間を考慮した配送スケジューリング問題に関する研究 星野瑛二 福島大学研究年報 Vol.2, pp.11-18 2006.12
【学会発表】 ファジィ需要量をもつ配送スケジューリング問題のシミュレーション解析 日本経営工学会平成18年度春季大会 関東京 2006.5

中村 勝一

- 【論 文】** A Real-Time Monitoring System for Programming Education Using Program Animation Systems and Compile-Errors Records Youzou Miyadera, Kumimi Kurasawa, Setsuo Yokoyama, Noboyushi Yonezawa Proc.10th International Conference Information Visualisation, pp.823-830, IEEE Computer Society Press 2006.7
 A Program Animation System for Real-

time Monitoring of Learning Youzou Miyadera, Kunimi Kurasawa, Nobuyoshi Yonezawa, Setsuo Yokoyama Proc. the 6th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies, pp.71-75, IEEE Computer Society Press 2006.7

A System Framework for Bookmark Sharing Considering Differences in Retrieval Purposes Maiko Ito, Hirokazu Shirai, Emi Igarashi, Setsuo Yokoyama, Youzou Miyadera Proc. 10th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, in LNAI 4252, pp.1035-1044, Springer 2006.10

【学会発表】 検索シーンを考慮したブックマーク情報共有支援システムとその評価 電子情報通信学会教育工学研究会 関大阪 2006.9

情報活用目的に応じた電子ドキュメント群からの話題抽出手法の提案 情報処理学会東北支部平成18年度第3回研究会 関会津 2007.1

異種電子ドキュメントからの話題抽出手法の提案 電子情報通信学会教育工学研究会 関高知 2007.3

樋口 良之

【著 書】 離散系のシステムモデリングとシミュレーション解析 共著 三恵社

【調査報告】 健康で豊かに生活できるふくしま地域コンテンツの整備と配信 福祉保健医療技術プロジェクト研究成果報告書 2007 2007.3

可能性理論による医療診断モデルの確立 Mahathir Bin Muhammad Rafie 福祉保健医療技術プロジェクト研究成果報告書 2007 2007.3

星野 珉二

【著 書】 『インベントリー・マネジメント～新しい在庫管理の考え方と発注方式の設計』 単著 日経BP企画 2006.9

【論 文】 発注方式の選択と統合に関する研究 単著 早稲田大学大学院理工学研究科 博士論文 2006.12

ファジー運行時間とサービス時間を考慮した配送スケジューリング問題に関する研究 共著(董、星野) 福島大学研究年報 第2号 2006.12

【特 許】 有機系農産物のSCMシステム 星野、幕田 特願2006-124386 2006.5

三浦 一之

【論 文】 Inner Rectangular Drawings of Plane Graphs Hiroki Haga, Takao Nishizeki International Journal of Computational Geometry and Applications Vol. 16, No. 2-3 2006.6

Convex Grid Drawings of Four-connected Plane Graphs Shin-ichi Nakano, Takao Nishizeki International Journal of Foundations of Computer Science Vol. 17, No. 5 2006.10

Convex Drawings of Plane Graphs of Minimum Outer Apices Machiko Azuma, Takao Nishizeki International Journal of Foundations of Computer Science Vol. 17, No. 5 2006.10

【学会発表】 Open Rectangle-of-Influence Drawings of Inner Triangulated Plane Graphs GD2006 関ドイツ カールスルーエ 2006.9

Open Rectangle-of-Influence Drawings of Inner Triangulated Plane Graphs コンピューテーション研究会 関仙台 東北大学 2006.10

Convex Grid Drawings of Plane Graphs with Rectangular Contours コンピューテーション研究会 関仙台 東北大学 2006.10

Convex Grid Drawings of Plane Graphs with Rectangular Contours ISAAC 2006 関インド コルカタ 2006.12

機械・電子学系

石原 正

【論 文】 Feedback control of brake system on railway vehicle considering nonlinear property and dead time M.Nankyo and H.Inooka J.Dynamic Systems, Measurement, and Control, Transaction of the ASME 128・3 2006.9

【学会発表】 Simultaneous observation of states and unknown inputs for discrete-time linear systems T.Ono 17th International Symposium on Mathematical Theory of Networks and Systems 関Kyoto, Japan 2006.7

Asymptotic sensitivity properties of Davison type integral controllers for non-minimum phase plants, L.A.Zheng and H.-J. Guo 17th International Symposium on Mathematical Theory of Net-

works and Systems ㊦ Kyoto, Japan
2006.7

Loop transfer recovery for plants with
all-pass factor L.A.Zheng 2006
CACs Automatic Control Conference,
㊦ Tamsui, Taiwan 2006.11

岡田 努

【論文】 科学史の再現実験の手法を取り入れた科学教育プログラムの実践—社会科・理科・技術科との関わり— 岡田努 福島大学総合教育研究センター紀要 第2号 2007.1

岡沼 信一

【学会発表】 単一直流電源による磁気発振を利用した正弦波出力インバータ 第30回日本応用磁気学会学術講演会 ㊦ 島根大学 2006.9

三脚鉄心で構成した可変インダクタに関する基礎的考察 日本産業技術教育学会第24回東北支部大会 ㊦ 山形国際ホテル 2006.11

磁気発振型正弦波出力インバータの基礎特性 日本産業技術教育学会第24回東北支部大会 ㊦ 山形国際ホテル 2006.11

柴原哲太郎

【論文】 評価法の手順と情報の長期伝達 (特集 胎児・新生児の神経系の評価) 高嶋幸男 周産期医学編集委員会編「周産期医学」 Vol. 36, No. 10, 2006 October, 1209-1211. 2006.10

高橋 隆行

【論文】 Optimal Braking Method for impact force reduction in the dynamics of redundant manipulators ICRA2006 USA 2006.5

【学会発表】 超音波アレクセンサによる屋内環境障害検知システム 第24回日本ロボット学術講演会 2006.11

車輪式倒立振り子ロボットの着座・起立動作の実現 第24回日本ロボット学術講演会 2006.11

視覚障がい者のための音像による障害物提示 第24回日本ロボット学術講演会 2006.11

Wheeled Inverted Pendulum Type Assistant Robot: Design Concept and Mobile Control Robotics and Automation Conference (RAC2007) ㊦ Cebu, Philippines 2007.3

"Development of Robotic Human Support System" Robotics and Automation Conference (RAC2007) ㊦ Cebu, Philippines 2007.3

Development of Robotic Human Support System Robotics and Automation Conference (RAC2007) ㊦ Cebu, Philippines 2007.3

田中 明

【論文】 Virtual Reality Counterparts of Pencil and Paper Tests for Hemispatial Neglect: a protocol Baheux K., Yoshizawa M., Tanaka A., Seki K., Handa Y. CyberPsychology & Behavior 9・2 2006.4

Intravascular two-dimensional tissue strain imaging. Saijo Y, Tanaka A, Iwamoto T, Dos Santos Filho E, Yoshizawa M, Hirosaka A, Kijima M, Akino Y, Hanadate Y, Yambe T. Ultrasonics, 44 Suppl 1 2006.7

Evaluation of cardiac function based on ventricular pressure-volume relationships during assistance with a rotary blood pump Daisuke Ogawa, Akira Tanaka, Ken-ichi Abe, Paul Olegario, Koichiro Kasahara, Yasuyuki Shiraiishi, Kazumitsu Sekine, Tomoyuki Yambe, Shin-ichi Nitta, and Makoto Yoshizawa Proc. of the 2006 IEEE Engineering in Medicine and Biology 28th Annual Conference 2006.8

【学会発表】 Evaluation of the cardiac function during the assist with a rotary blood pump. American Society for Artificial Internal Organ, The 52nd Annual Conference ㊦ Chicago, USA 2006.6

Segmentation of calcification regions in intravascular ultrasound images by adaptive threshold 19th IEEE International Symposium on Computer-based Medical Systems ㊦ Salt Lake City, U.S.A. 2006.6

Simulating hemineglect with Virtual Reality 5th International Workshop on Virtual Rehabilitation ㊦ New York 2006.8

Automated calcification detection and quantification in intravascular ultrasound images by adaptive thresholding World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2006 ㊦ Seoul, Korea 2006.8

A system for tissue characterization and quantification of calcification regions in intravascular ultrasound the 2006 IEEE International Ultrasonics Symposium ㊦Vancouver-BC, Canada 2006.10

Autonomic Nervous Activity Revealed by a New Physiological Index p_{max} Based on Cross-Correlation between Mayer-Wave Components of Blood Pressure and Heart Rate SICE-ICASE International Joint Conference 2006 ㊦Bussan, Korea 2006.10

Physiological Evaluation of Effects of Visually-Induced Motion Sickness Using Finger Photoplethysmography SICE-ICCAS International Joint Conference 2006 ㊦Bussan, Korea 2006.10

Assessment of Biological Effect of Minimal Acupuncture Using Causal Coherence Function between Blood Pressure and Heart Rate SICE-ICCAS International Joint Conference 2006 ㊦Bussan, Korea 2006.10

Study on the ventricular pressure-volume relationship during assistance with a rotary blood pump. The 2nd International Symposium on Bio- and Nano-Electronics ㊦Sendai, Japan 2006.12

A Cardiovascular System Simulator for Developing Control Algorithms of Ventricular Assist Devices The 2nd International Symposium on Bio- and Nano-Electronics ㊦Sendai, Japan 2006.12

Biological Assessment of the Effect of Acupuncture by Using Closed-loop Analysis of Cardiovascular Variability The 2nd International Symposium on Bio- and Nano-Electronics ㊦Sendai, Japan 2006.12

A Method for Extraction of Physiological Parameters from Photoplethysmography Using Independent Component Analysis The 2nd International Symposium on Bio- and Nano-Electronics ㊦Sendai, Japan 2006.12

Study on evaluating cardiac function during assistance with a rotary blood pump the 9th International Symposium on Future Medical Engineering based on Nanotechnology ㊦Sendai, Japan 2007.1

定常流補助人工心臓を考慮した心機能評

価法の検討 第45回日本生体医工学会大会論文集 ㊦福岡 2006.5

バーチャル・サイクリングチェア・システムを対する運動負荷に連動した仮想環境変化のための生体情報フィードバックの導入 日本バーチャルリアリティ学会第11回大会 ㊦仙台 2006.9

視線フィードバックを用いた半側空間無視に対するVRリハビリシナリオの検討 日本バーチャルリアリティ学会第11回大会 ㊦仙台 2006.9

定常流型人工心臓装着時の心機能評価：動物実験およびモデルによる検討 第44回日本人工臓器学会大会 ㊦横浜 2006.11

補助人工心臓用制御アルゴリズム開発のための循環系シミュレータ 第44回日本人工臓器学会大会 ㊦横浜 2006.11

光電容積脈波に基づく生理指標を用いた映像酔いの評価法 第21回 生体・生理工学シンポジウム ㊦鹿児島 2006.11

半側空間無視における視線フィードバックの有効性の検討 第40回日本生体医工学会東北支部大会 ㊦仙台 2006.11

福田 一彦

【論文】 睡眠と姿勢 単著 理学療法 24巻1号 2007.1

E-Learning教材「金縛りを科学する ダイジェスト版」を作成して 単著 福島大学生涯学習教育研究センター年報12巻 2007.3

【調査報告】 睡眠覚醒リズムへの積極的介入による心身健康改善効果の有効性 福祉保健医療技術プロジェクト研究成果報告書 共生のシステム Vol.4 2007.3

【学会発表】 メロディ認知に影響を及ぼす音列構成アルゴリズム 第24回日本生理心理学会 ㊦広島 2006.5

反社会性人格傾向と事象関連電位の特徴 第24回日本生理心理学会 ㊦広島 2006.5

夜間における異なる波長での光照射が、主観的睡眠感および睡眠覚醒リズムに与える影響 第24回日本生理心理学会 ㊦広島 2006.5

活動の規則性と朝型-夜型度との関連 第24回日本生理心理学会 ㊦広島 2006.5

通常の生活下において、波長の異なる光

暴露が睡眠覚醒リズムにどのような影響を及ぼすのか 第31回日本睡眠学会 関滋賀 2006.6

昼間睡眠が保育園児の心身健康及び養育者の心身健康に与える影響—保育園におけるアクチグラム、睡眠日誌を用いた実証的検討— 第31回日本睡眠学会 関滋賀 2006.6

スポーツ選手の練習時間帯の違いが睡眠に及ぼす影響 第31回日本睡眠学会 関滋賀 2006.6

定年退職と精神健康(1) パーソナリティとアイデンティティを中心に 第70回日本心理学会 関福岡 2006.11

定年退職と精神健康(2) 睡眠リズムを中心に 第70回日本心理学会 関福岡 2006.11

大学生における生活リズム(4)—就床時刻を後退させる要因に関する居住形態別の検討— 第70回日本心理学会 関福岡 2006.11

メロディ認知とそれに随伴する事象関連電位の検討 音楽知覚認知学会 関金沢 2006.11

メロディ認知の背景にある生物学的プロセスについて：事象関連電位を用いた検討 第36回日本臨床神経生理学会 関横浜 2006.11

情動刺激提示時における脳波の左右差について 第36回日本臨床神経生理学会 関横浜 2006.11

二見 亮弘

【論 文】 Characteristics of Human Luminance Discrimination and Modeling a Neural Network Based on the Response Properties of the Visual Cortex. A.Iwaizumi, R. Futami, S.Kanoh and J.Gyoba Biological Cybernetics Vol.94, No.5 2006.5

Nonlinear FES Control of Knee Joint by Inversely Compensated Feedback System. Gwang-Moon Eom, Jae-Kwan Lee, Kyeong-Seop Kim, Takashi Watanabe and Ryoko Futami International Journal of Control, Automation, and Systems Vol.4, No.3 2006.6

Temporal Resolution of the Skin Impedance Measurement in Frequency-domain Method. T.Fukumoto, G.Eom, S.Ohba, R.Futami and N.Hoshimiya IEEE Transactions on Biomedical Engineering Vol.54, No.1 2007.1

【学会発表】 2刺激に微小な呈示時間差を持った輝度弁別 RT タスクの弁別特性を有する神経回路モデル 岩泉、二見、松木、鈴木 電子情報通信学会技術研究報告, NC 2006-5 関仙台 2006.5

山口 克彦

【論 文】 Angle resolved analysis of magnetic dynamic process for micro magnetic clusters with dislocations Katsuhiko Yamaguchi, Osamu Nittono, Toshiyuki Takagi and Koji Yamada Proc.of Electromagnetic Field Computation PF2-1 p.438 2006.5

【調査報告】 人間支援機器安全向上のための残留応力センサーの開発 山口克彦 共生のシステム(福祉保健医療プロジェクト研究成果報告書) Vol4, pp.269-286 2006.3

【学会発表】 Angle resolved analysis of magnetic dynamic process for micro magnetic clusters with dislocations The Eleventh Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computation 関マイアミ(米国) 2006.5

磁気的非破壊検査のための動的磁化過程解析 日本鉄鋼協会大153回春季講演大会材料の組織と特性部会シンポジウム 関習志野市 2007.3

物質・エネルギー学系

猪俣 慎二

【調査報告】 テトラヒドロフランの代わりにメシチレンを反応溶媒とするナトリウムシクロペンタジエニドの発生活法とメタロセン(Cp₂MCl₂; M=Ti, Zr)の合成への応用 照山真理 共生のシステム 5巻 2007.3

【学会発表】 ジチオカルバマトヘキサスルフィド亜鉛錯体の構造と反応性 第56回錯体化学討論会 関広島 2006.9.16~18

ビス(ヘキサスルフィド)亜鉛錯体と活性アルキンとの反応 平成18年度化学系学協会東北大会 秋田 2006.9

大山 大

【論 文】 Synthesis, characterization and reactivity of polypyridyl ruthenium(II) carbonyl complexes with phosphine derivatives: Ruthenium-carbon bond labilization based on steric and electronic effects Madoka Saito Inorganica Chimica Acta vol.359 2006.4

金澤 等

- 【論文】 Re-examination of the Reactivity of N-Carboxy Amino Acid Anhydrides 1. Polymerisation of Amino Acid NCAs in Acetonitrile and in the Solid State in Hexane A.Inada,N.Kawana Macromolecular Symposia 242 2006.10
- 【学会発表】 Reconsideration of Reactivity of N-Carboxy Amino Acid Anhydrides (15) : Preparation of Polypeptides with High-Molecular Weight and Narrow Molecular Weight Distribution POLY-CHAR-14,Nara 関奈良 2006.4
- Preparation of Polyolefin Materials with High Water Absorptivity POLY-CHAR-14,Nara 関奈良 2006.4
- N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考 (16) 第58回年度日本家政学会 関秋田 2006.5
- 高吸水性ポリプロピレン材料の開発 第58回年度日本家政学会 関秋田 2006.5
- N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考 (17) 第54回高分子学会年次大会 関名古屋 2006.5
- N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考 (18) 2006年繊維学会年次大会 関東京 2006.6
- N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考 (19) 第6回高分子学会東北地区会 関仙台 2006.11
- N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考 (20) 2006年有機固相シンポジウム 関愛媛 2006.11

佐藤 理夫

- 【論文】 Compound semiconductors grown on porous alumina substrate as a novel hydrogen permeation membrane 単著 J.Crystal Growth Vol.298 2007.1
- 【調査報告】 畜産廃棄物資源化設備の運転状況と環境負荷 単著 共生のシステム Vol.5 2007.3
- セラミックス+半導体=水素技術!? 単著 (トピックス・研究紹介) セラミックス 42巻3号 2007.3
- 【学会発表】 Compound Semiconductors on Porous-Substrate ; Novel Hydrogen Selective Permeation Membrane 13th International Conf. on Metalorganic Vapor Phase Epitaxy (ICMOVPE-13) 関宮崎シーガイア・宮崎 2006.5

『半導体水素デバイス!?』—化合物半導体を用いた水素選択透過媒体— 化学工学会福島懇話会 関東北保土谷・福島 2006.12

カーボンニュートラルを目指した廃食用油直接燃焼型コージェネレーション 第54回応用物理学関係連合講演会 関青山学院大学・神奈川 2007.3

島田 邦雄

- 【著書】 磁性ビーズのバイオ・環境技術への応用展開 共著 シーエムシー出版
- 【論文】 ER流体を用いた回転形デバイスのトルクの過渡特性 西田均、島田邦雄、藤田壽憲、奥井健一 日本フルードパワーシステム学会論文集 第37巻, 第3号 2006.5
- 非接触・ナノレベル磁気研磨による超鏡面加工 松尾良夫、島田邦雄 Fine Ceramics Reports Vol.24, No.2 2006.5
- A study on a MR damper utilizing magnetorheological fluids composed of different size of particles Hideto KANNO, Kunio SHIMADA and Junji OGAWA Theoretical and Applied Mechanics Japan Vol.55 2006.9
- Three-dimensional nanolevel polishing using MCF Yoshio MATSUO, Keita YAMAMOTO, Teruhisa NAKAMURA, Rei HANAMURA and Kunio SHIMADA Journal of the Magnetic Society of Japan Vol.31, No.1 2007.1
- Study on New Float Polishing with Large Clearance utilizing Magnetic Compound Fluid - Polishing Mechanism and Effects of Polishing Parameters - K.Shimada, Y.Matsuo, K.Yamamoto, R.Hanamura, T.Sahashi and Y.Wu Proceedings of Advances in Materials and Processing Technologies 2006.7
- Study on New Float Polishing with Large Clearance utilizing Magnetic Compound Fluid - Possibility and Examples of the MCF Polishing Technique - K.Shimada, Y.Matsuo, K.Yamamoto, R.Hanamura, T.Sahashi and Y.Wu Proceedings of Advances in Materials and Processing Technologies 2006.7
- An ultra-precision polishing technique using high-velocity abrasive fluid Y. Wu, K.Shimada and T.Kuriyagawa Proceedings of Advances in Materials and Processing Technologies 2006.7

- 【調査報告】** 福島大学・MCF コンソーシアムの産学官連携事業～特定分野に特化した連携・事業化の活動事例～ 島田邦雄 東北21 10月号 2006.10
- 非接触式ウエハ磁気研磨システムの開発 島田邦雄、FDK(株) 経済産業省「地域新規産業創造技術開発費補助金」成果報告書 2007.3
- 福祉保健医療における器具や試料の作成時における機械装置の開発と保健医療用等における新素材の開発 島田邦雄、鄭耀陽 福祉保健医療技術プロジェクト研究成果報告書 2007.3
- 【学会発表】** Study on New Float Polishing with Large Clearance utilizing Magnetic Compound Fluid - Polishing Mechanism and Effects of Polishing Parameters - International Conference on Advances in Materials and Processing Technologies 関Las Vegas 2006.7～8
- Study on New Float Polishing with Large Clearance utilizing Magnetic Compound Fluid - Possibility and Examples of the MCF Polishing Technique - International Conference on Advances in Materials and Processing Technologies 関Las Vegas 2006.7～8
- An ultra-precision polishing technique using high-velocity abrasive fluid International Conference on Advances in Materials and Processing Technologies 関Las Vegas 2006.7～8
- 磁気応答流体の新しいポリッシングに関する研究(種々の研磨条件による違い) 日本機械学会 D&D 関名古屋 2006.8～9
- MCFの基礎と応用 日本実験力学会 第二回技術講習会 関東京 2006.8
- 磁気応答流体の新しいポリッシングに関する研究(流体から研磨メカニズムの解明) 日本機械学会2006年度年次大会 関熊本 2006.9
- 小規模低風速型風車の開発に関する基礎研究(風速とトルクの特性) 日本機械学会2006年度年次大会 関熊本 2006.9
- ハプティックロボットの要素開発(感温性と導電性の相関関係) 第15回 MAGDA コンファレンス in 桐生, 電磁現象及び電磁力に関するコンファレンス 関桐生 2006.11
- MCFを使ったハプティックロボットにおける人工皮膚の開発 磁性流体連合講演会 関札幌 2006.12
- 磁気機能性流体による管内面研磨に及ぼす磁場分布の影響 磁性流体連合講演会 関札幌 2006.12
- 【実 技】** MCF 精密磁気磨装置出展 第22回産学間交流の集い 2006.7
- MCF 精密磁気磨装置出展 イノベーションジャパン2006大学見本市 2006.9
- MCF 精密磁気磨装置出展 第8回ふくしまユニバーサルデザイン 2006.9
- MCF 精密磁気磨装置出展 メディカルクリエーションふくしま2006 2006.11
- MCF 精密磁気磨装置出展 彩の国ビジネスマリーナ2007 2006.2
- 【特 許】** 鏡面研磨とコーティング方法および鏡面研磨をコーティング装置 島田邦雄、杉本俊春、呉勇波 特許公開2006-88283
- 複雑形状物体の鏡面研磨方法および鏡面研磨装置 島田邦雄、杉本俊春 特許公開2007-21660
- 複雑形状物体の鏡面研磨方法および鏡面研磨装置 島田邦雄、杉本俊春 特許公開2007-21661
- 導電性複合材料およびその製造方法 島田邦雄、高橋隆行、小沢喜仁、福田一彦、Zheng Yaoyang、Jeong Song Hee 特許出願 PCT/JP2007/55107
- 杉森 大助**
- 【著 書】** 各種手法による有機物の分解技術, 第2章第5節油脂含有廃水の微生物処理技術の開発, 305-314, (株)情報機構 分担執筆 2007.5
- 【論 文】** *N,N*-Diethyl-(*R*)-[3-(2-aminopropyl)-1*H*-indol-7-yl]oxy]acetamide: Its Process Chemistry Ranging from Enantiocontrolled Construction of the Chiral Amine Side Chain to Regioselective Functionalization of the Aromatic Starting Materials Masaya Ikunaka, Shiro Kato, Daisuke Sugimori, Yasuhiro Yamada *Org.Process Res.Dev.*, 11:1 2006.12
- 【調査報告】** 油脂含有排水の微生物処理技術の開発 自然共生・再生研究: 共生のシステム 5 2007.3
- 【学会発表】** 脱ガム加工用酵素ホスホリパーゼCの開発を目指して: *Pseudomonas* sp.KS3.2株由来ホスホリパーゼCの部分精製と特性評価 第2回産業用酵素シンポジウ

ム 関大阪府立大学 2007.3

油脂含有排水の微生物処理技術の開発
自然共生再生プロジェクト第2回ワーク
ショップ 関エスパル福島 2007.3

Purification, characterization, and gene
cloning of sphingomyelinase C from
Streptomyces griseocarneus NBRC13471
Enzyme Engineering XIX 関カナダ
2007.9

【特 許】 混合微生物、製剤および油脂含有物質の
処理方法 杉森大助、櫻岡敏之 特
願2006-335149

高貝 慶隆

【論 文】 Powerful preconcentration method for
capillary electrophoresis and its applica-
tion to ultratrace amounts of polycyclic
aromatic hydrocarbons analyses Y.
Takagai, R.Akiyama, S.Igarashi
Analytical and Bioanalytical Chemistry
385巻 2006.7

Selective visual determination of vana-
dium(V) ion in highly acidic solution
using desferrioxamine B immobilization
cellulose Y.Takagai, H.Yamaguchi,
T.Kubota, S.Igarashi Chemistry Let-
ters36巻 2007.1

【調査報告】 微量分析のトータルダウンサイジングと
阿武隈河川水の迅速分析 高貝慶隆
自然共生・再生研究 ～阿武隈流域水循
環系の健全化に関する研究～ 5巻
2007.3

【学会発表】 デスフェリオキサミンB固定化セルロー
スろ紙によるバナジウム(V)の簡易定
量法の開発 第67回 日本分析化学討
論会 関秋田大学 2006.5

デスフェリオキサミンB化学修飾ポリマ
ービーズを用いたレアメタルの新しい分
離・回収システムの提案 日本分析化
学会 第55年会 関大阪大学 2006.9

セルロース誘導体の合成と重金属イオン
の吸着分離特性 平成18年度 化学系
学協会東北大会 関秋田大学 2006.9

【特 許】 5) 高原子価金属イオンの捕集剤 高
貝慶隆、佛願道男、五十嵐淑郎 特願
2007-056103

高安 徹

【学会発表】 3H-シクロヘプタ[g]プテリジン-3,8
(7H),10(9H)-トリオン誘導体の合成
と性質 第18回基礎有機化学連合討論
会 関福岡市 2006.10

FAD モデル化合物の合成と性質 自

然共生再生プロジェクト第2回ワーク
ショップ 関福島市 2007.3

入戸野 修

【論 文】 Co-ITO granular magnetoresistance films
fabricated by precipitation of magnetic
nanoparticles from amorphous oxide
W.Ekawati, J.Shi, Y.Nakamura & O.Nit-
tono J. Vac. Sci. Technol., vol. 24
(2) L1-L3 2006.4

Monte Carlo simulation for magnetic dy-
namic processes of micromagnetic clus-
ters with local disorder K.Yamagichi,
S.Tanaka, O.Nittono, K.Yamada & T.Tak-
agi Physica B, vol. 372, 251-255.
2006

Effects of Pt addition on formation of
Co-ITO granular magnetoresistance
films by a two-step method W.Ek-
awati, J.Shi, Y.Nakamura & O.Nittono
J. Vac. Sci. Technol. vol. 24(3) 408-412.
2006.5

Monte Carlo Simu- lation for Magnetic
Dynamic Process of Deformed Micro
Magnetic Clusters K.Yamagichi, S.
Tanaka, O.Nittono, K.Yamada & T.Tak-
agi Trans.Magnetics vol. 42 (4)
927-930. 2006.4

Technique to Improve the Magneto-resis-
tance Sensitivity of InSb Thin Films
Md.Abu Taher & O.Nittono Interna-
tional University Journal of Science and
Technology vol.1 (1) 21-24 2006

【学会発表】 Effect of Substrate Temperature on the
Properties of Vacuum Evaporated thin
InSb Films Md.Abu Taher & O.Nit-
tono Science & Technology 1 of Daffo-
dil International University 関Bangla-
desh 2006.4

Dopping Effect on Electrical and Galva-
nomagnetic Properties of InSb Thin Films
Md.Abu Taher & O.Nittono Bangla-
desh Electronics Society 関Bangladesh
2006.4

【書 評】 「私の研究」欄の連載にあたってー共生
システム理工学類のねらいー 入戸野
修 福島の進路 No.294 2007.2

生命・環境学系

市井 和仁

【著 書】 Research and Economic Applications of
Remote Sensing Data Products 共著

- American Geophysical Union
- 【論文】** Evaluation of snow models in terrestrial biosphere models using ground observation and satellite data: Impact on terrestrial ecosystem processes Ichii K., White M.A., Votava P., Michaelis A., Nemani R.R. *Hydrological Processes*
- Developing a Continental-scale Measure of Gross Primary Production by Combining MODIS and AmeriFlux Data through Support Vector Machine Approach Myneni R.B., Yang W., Nemani R.R., Huete A.R., Dickinson R.E., Knyazikhin Y., Didan K., Fu R., Juarez R.I.N., Saatchi S.S., Hashimoto H., Ichii K., Shabanov N.V., Tan B., Ratana P., Privette J.L., Morisette J.T., Vermote E.F., Roy D.P., Wolfe R.E., Friedl M.A., Running S.W., Votava P., El-Saleous N., Devadiga S., Su Y., Salomonson V.V. *Remote Sensing of Environment*
- Large seasonal swingings in leaf area of Amazon rainforests Myneni R.B., Yang W., Nemani R.R., Huete A.R., Dickinson R.E., Knyazikhin Y., Didan K., Fu R., Juarez R.I.N., Saatchi S.S., Hashimoto H., Ichii K., Shabanov N.V., Tan B., Ratana P., Privette J.L., Morisette J.T., Vermote E.F., Roy D.P., Wolfe R.E., Friedl M.A., Running S.W., Votava P., El-Saleous N., Devadiga S., Su Y., Salomonson V.V. *Proceedings of the National Academy of Science of the United States of America* 104, 4820-4823 2007.3
- Interannual variations in vegetation activities and climate variability caused by ENSO in tropical rainforests. *International Journal of Remote Sensing* Nagai S., Ichii K., Morimoto H. *International Journal of Remote Sensing* 28(6), 1285-1297 2007.3
- Constraining rooting depths in tropical rainforests using satellite data and ecosystem modeling for accurate simulation of GPP seasonality Ichii K., Hashimoto H., White M.A., Potter C.S., Hutya L.R., Huete A.R., Myneni R.B., Nemani R.R. *Global Change Biology* 13, 67-77 2007.1
- Prediction of continental scale evapotranspiration by combining MODIS and AmeriFlux data through Support Vector Machine. *IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing* Yang F., White M., Michaelis A., Ichii K., Hashimoto H., Votava P., Zhu A.X., Nemani R.R. *IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing* 44 (11), 3452-3461 2006.11
- 【学会発表】** Refinement of rooting depths using satellite-based evapotranspiration seasonality and ecosystem model in California 共著 AGU2006 Fall Meeting 函San Francisco 2006.12
- Refinement of rooting depths using satellite-based evapotranspiration seasonality and ecosystem model in California 共著 Global Vegetation Workshop 2006 函Missoula MT USA 2006.8
- Biome-BGC at NASA Ames 共著 Biome-BGC/RHESSys Workshop 2006 函Missoula, MT, USA 2006.4
- 稲森 悠平**
- 【論文】** マイクロバブル化オゾン酸化法および吸着脱リン法を組み込んだ新しい資源循環型排水処理システム 鈴木康之、近藤貴志、常田聡 *用水と廃水* 48 (5) 2006
- Long-term monitoring of the succession of a microbial community in activated sludge from a circulation flush toilet as a closed system T.Hoshino, T.Terahara, K.Yamada, H.Okuda, I.Suzuki, S.Tsuneda, A.Hirata *FEMS Microbiol Ecol.* 55 2006
- Adsorption and Biodegradation Characteristics of Musty Odorous Compounds, 2-Methylisoborneol and Geosmin N.Sugiura, K.Okano, P.Bremdan, M.Utsumi, *Japanese Journal of Water Treatment Biology* 42 (2) 2006
- 水生植物を植栽した溜池の水質浄化に果たすユスリカ類の役割 林紀男、桑原享史、稲森隆平、須藤隆一 *四万十・流域圏学会誌* 5 (2) 2006
- Characteristic Analysis of the Organic Substance and Nutrient Removal and the Green House Gas Emission in the Soil Treatment Systems with Aquatic Plants R.Inamori, K-Q Xu, P.Gui, Y.Ebie, M.Matsumura *Japanese Journal of Water Treatment Biology* 42 (4) 2006
- Comprehensive Analysis of Cell Wall-Permeabilizing Conditions for Highly Sensitive Fluorescence In Situ Hybridization K.Furukawa, T.Hoshino, S.Tsuneda *Microbes and Environments* 21 (4) 2006

- Investigating CH₄ and N₂O emissions from eco-engineering wastewater treatment processes using constructed wetland microcosms R.Inamori,P.Gui,P.Dass,M.Matsumura,K.-Q.Xu,T.Kondo,Y.Ebie PROCESS BIOCHEMISTRY 42 (3) 2007
- 【調査報告】** 水処理に伴って発生する汚泥の処理・処分技術と政策動向 加藤善盛、稲森隆平、蛭江美孝、清水康利 資源環境対策 42 (5) 2006
- 生物処理の意義・重要性と目標 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 108 2006
- 生物処理に係わる微生物の種類 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 110 2006
- 生物処理に出現する細菌の種類 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 111 2006
- ディスポーザの循環型社会形成に資する管理型適正普及方策と高度化の課題と展望 徐開欽、蛭江美孝、稲森隆平、松村正利 用水と廃水 48 (7) 2006
- 生物処理と放流水域に出現する藻類の種類 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 112 2006
- 生物処理に出現する微生物の増殖 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 113 2006
- 生物処理における独立・従属栄養微生物の働きと有機物の酸化・分解 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 114 2006
- 生物処理における硝化・脱窒 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 115 2006
- 生物処理におけるリン蓄積 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 116 2006
- 生物処理における汚泥減量化 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 117 2007
- 生物処理における酸生成嫌気性微生物による分解 孔海南、稲森隆平 月刊食品工場長 118 2007
- 【学会発表】** Effect of oxygenation on distribution and activity of ammonia oxidizer in eutrophic lake sediment 2nd FEMS CONGRESS OF EUROPEAN MICROBIOLOGISTS 図MDRID 2006.7
- Characterization of the high-density compounds containing organisms in enhanced biological phosphorus removal process International Symposium on Environmental Biotechnology 図Leipzig 2006.7
- Microbial community and growth characteristic of bacteria exhibiting a high anaerobic ammonium oxidation activity International Symposium on Environmental Biotechnology 図Leipzig 2006.7
- Optimization of the cell wall permeabilizing conditions for highly sensitive fluorescence situ hybridization International Symposium on Microbial Ecology-11 図Vienna 2006.8
- Use of Stable-isotope probing approach to identify active bacteria in methane-dependent denitrifying consortia International Symposium on Microbial Ecology-11 図Vienna 2006.8
- バイオエコシステムの TEMM 等における重要性と国際化の方向性 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- 嫌気性アンモニア酸化法による低水温条件下における窒素の除去特性 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- IRON-ELECTROLYSIS法を導入した適正管理下の窒素・リン除去の高度安定化 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- Biomass 破砕物含有総合排水からの有機物、窒素除去の高度安定化 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- メタン資化細菌を導入した窒素除去の機能強化と高度効率化システム導入方策 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- GHG 対策に資する根圏微生物活用植栽・土壌浄化技術の高度化・国際化 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- 生ごみ等 Wet Biomass からの水素・メタン発酵システムのアジア展開 第9回日本水環境学会シンポジウム 図東京 2006.9
- 有用性微生物の遺伝子解析等に基づく環境修復技術の高度化・国際化 第9回

- 日本水環境学会シンポジウム ㊦東京 2006.11
2006.9
- 捕食微小動物を利用した藍藻 *Microcystis* の低減化に関する研究 社団法人環境科学会2006年会 ㊦東京 2006.9
- Evaluation of constructed wetlands by wastewater purification ability and greenhouse gas emissions 10th International Conference on Wetland Systems for Water Pollution Control ㊦Lisbon 2006.9
- Comparative analysis of constructed wetland systems with different plants species focused on performance of wastewater treatment and characteristics of greenhouse effect gases emission 10th International Conference on Wetland Systems for Water Pollution Control ㊦Lisbon 2006.9
- Functional analysis based on molecular microbiological wastewater treatment system The 4th International Symposium On Sustainable Sanitation ㊦Bandung 2006.9
- Real-time PCR法を用いた anammox 細菌の定量と窒素除去特性の関係解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 鉄電解法による生活系排水からのリン除去・回収特性の解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 生活排水に含まれる有機物、窒素をパラメーターとした排水処理能高度化における関係解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 生物・物理化学的プロセスにおける窒素・リン同時除去の効率化のための機能解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 高濃度アンモニア含有排水処理プロセスにおける低水温下での処理特性と硝化細菌の挙動 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 有機物存在下における嫌気性アンモニア酸化反応の特性解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 生ゴミを基質とする水素・メタン発酵ガス化技術の効率化 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 生ゴミを基質としたメタン発酵・窒素除去効率化のための適正条件の解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台
- バイオマスからの水素・メタン二段発酵システムにおける温度の影響 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- Molecular biological analyses on the relationship between nitrogen removal and N₂O emission characteristics in the constructed wetland systems 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 汚泥減容・リン回収型栄養塩類除去プロセスに生息する微生物叢解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 有機性排水の可溶化反応槽における微小動物相の増殖・浄化特性 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 生ゴミ導入排水処理システムにおける生ゴミの生物資化特性解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 原生動物 *Monas guttula* の糸状性藍藻類を食物源とした増殖特性 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- Stable-Isotope Probing 法によるメタン脱窒反応場の細菌群集構造解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 水質浄化および温室効果ガス発生特性等の抽水植物種間における比較解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- アシとマコモ、ガマの組み合わせ混栽系における成長・栄養塩類除去・温室効果ガス発生特性 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 傾斜土槽法による生活雑排水処理に及ぼす原水流入パターンの効果 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 傾斜土槽法による生活排水処理に及ぼすミミズの効果 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 生活雑排水の傾斜土槽法処理における適正条件の解析 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- クウシンサイ植栽フロート式水耕栽培浄化法における流入負荷と浄化性能との関係 日本水処理生物学会第43回大会 ㊦仙台 2006.11
- 水生植物植栽浄化法における水生動物の

果たす役割 日本水処理生物学会第43
回大会 函仙台 2006.11

汚染地下水からのモリブデンの除去につ
いて 第41回日本水環境学会年会 関大
東 2007.3

ディスポーザ活用処理システムの汚泥の
生物化学的特性 第41回日本水環境学
会年会 関大東 2007.3

生ごみ粉碎ディスポーザ排水割合の有機
物成分の排水処理システムに及ぼす影響
解析 第41回日本水環境学会年会 関大
東 2007.3

ディスポーザ導入型排水処理システムに
おける生ごみ成分が機能に及ぼす影響解
析 第41回日本水環境学会年会 関大東
2007.3

On-site 型メリーゴーランド方式リン吸
着・脱離・再生・回収プロセスの開発と
評価 第41回日本水環境学会年会 関大
東 2007.3

アン・マコモ・ガマの植栽土壌浄化シス
テムにおけるC・N・P、根圏微生物、
GHG 発生能の解析 第41回日本水環境
学会年会 関大東 2007.3

Detection of ammonia-oxidizing bacteria
in polyculture constructed wetlands us-
ing molecular techniques 第41回日本
水環境学会年会 関大東 2007.3

高分子ゲル包括固定化担体を用いた低温
硝化プロセスにおける処理特性と硝化菌
の挙動 第41回日本水環境学会年会
関大東 2007.3

メタン脱窒反応場における炭素循環と細
菌群集構造 第41回日本水環境学会年会
関大東 2007.3

汚泥減容型高度処理プロセスに存在する
微生物叢解析 第41回日本水環境学会年
会 関大東 2007.3

二相式水素・メタン発酵の操作条件の異
なるシステムにおける比較影響解析
第41回日本水環境学会年会 関大東
2007.3

Wet 系バイオマスからの水素・メタン発
酵クリーンエネルギー回収システム技術
開発 第41回日本水環境学会年会 関大
東 2007.3

クウシンサイ植栽フロート式水耕栽培浄
化法における葉・茎・根圏生長特性と動
物プランクトン相からの性能解析 第
41回日本水環境学会年会 関大東 2007.3

水質浄化および GHG 対策のための植栽

・土壌浄化システムにおける抽水植物に
着目した比較解析 第41回日本水環境学
会年会 関大東 2007.3

包括固定化 anammox 担体内における微
生物群集構造の解析 第41回日本水環
境学会年会 関大東 2007.3

生ごみを基質としたメタン発酵・窒素除
去効率化のための適正条件の解析 第
41回日本水環境学会年会 関大東 2007.3

有機物が嫌気性アンモニア酸化反応場へ
及ぼす影響 第41回日本水環境学会年
会 関大東 2007.3

鉄電解法による生活排水からのリン除去
特性と回収のための汚泥特性解析 第
41回日本水環境学会年会 関大東 2007.3

生活雑排水の傾斜土槽法処理の高度化に
おける流量パターン等に基づく適正条件
の解析 第41回日本水環境学会年会
関大東 2007.3

生活雑排水流入傾斜土槽法の処理機能に
及ぼす温度・生物特性等の影響解析
第41回日本水環境学会年会 関大東
2007.3

傾斜土槽法による生活雑排水処理におけ
る最適条件の検討 第41回日本水環境学
会年会 関大東 2007.3

木内 豪

- 【著 書】 舗装工学ライブラリー 4 環境負荷軽減
舗装の評価技術 共著 社団法人土
木学会
- 【論 文】 水循環系の健全度指標に関する基礎的検
討 川崎将生、富澤洋介 ダム技術
No. 240, 39-54 2006.9
- 下水処理場での水温観測に基づく都市下
水道の水・熱輸送に関する研究 中山
有、神田学 水文・水資源学会誌
Vol. 20, No. 1 2007.1
- 阿武隈川流域における平常時の水質と栄
養塩負荷の実態 虫明功臣 土木学
会水工学論文集 Vol. 51, 1177-1182
2007.2
- 下水道による水輸送過程を考慮した WE
Pモデルの都市流域への適用 宮本守
土木学会水工学論文集 Vol. 51, 1141-
1146 2007.2
- Increase in stream temperature related
to anthropogenic heat input from urban
wastewater H.Yagi, and M.Miyamoto
Journal of Hydrology 335, 78-88
2007.3

- 【学会発表】** 分布型モデルを用いた河川・地下水の水質解析 河川技術論文集 関東京 2006.6
- 阿武隈川の水質の特徴と形成要因について 水文・水資源学会2006年研究発表会 関岡山大学 2006.8
- 千葉県高崎川流域における分布型モデルの適用と水循環解析 日本陸水学会第71回大会 関愛媛大学 2006.9
- 都市被覆の改善によるヒートアイランド対策 月刊「建設設備と配管工事」 2006.1
- Long-term change of stream water quality as a consequence of watershed development and management 3rd APHW Conference 関Bangkok 2006.1
- 阿武隈川流域水循環系健全化への課題～特に清流復活に向けて～ 阿武隈川サミット講演会 関福島市 2006.11
- Application of WEP model to a highly urbanized watershed in Tokyo International Seminar on the Distributed Watershed Modeling and Application 関高陽市(韓国) 2007.2

木村 吉幸

- 【調査報告】** 尾瀬のニホンジカ—平成18年度(2006)の自動撮影装置による調査結果を中心に— 木村吉幸、内藤俊彦 尾瀬の保護と復元 特別号(177-188) 2007.3
- 尾瀬地域におけるニホンジカの越冬状況 内藤俊彦、木村吉幸 尾瀬の保護と復元 特別号(189-204) 2007.3
- ニホンジカによる植生攪乱とその回復 内藤俊彦、木村吉幸、濱口絵夢 尾瀬の保護と復元 特別号(205-233) 2007.3
- 【学会発表】** 尾瀬におけるニホンジカの採食行動の季節変化 岩崎雄輔・木村吉幸 日本哺乳類学会(2006年度大会) 関京都大学 2006.10

黒沢 高秀

- 【論文】** Euphorbiaceae. In Tanaka, N., Koyama, T. & Murata, J. The flowering plants of Mt. Popa, Central Myanmar - Results of Myanmar-Japanese Joint Expeditions, 2000-2004. Tanaka, N. Makinoa n.s. No. 5 2006.5
- 【調査報告】** 植物資料収集とデータベース化から見えてきた福島県内の水域生態系の変遷(2) 猪苗代湖の水生植物相とその変

- 化. 野沢沙樹・高瀬智恵子 福島大学理工学群共生システム理工学類共生のシステム 5, 2007.3
- 南湖の植物(中間報告), 福島大学・県南建設事務所共同研究「南湖公園保全・利活用計画」策定における基礎資料作成」報告書. 福島大学共生システム理工学類生物多様性保全研究室・南湖植物研究グループ, 福島. 2007.2

小山 純正

- 【論文】** Nitric oxide from the laterodorsal tegmental neurons: Its possible retrograde modulation on norepinephrine release from the axon terminal of the locus coeruleus neurons. Kodama T. Koyama Y. Neuroscience 138 2006.1
- A Quartet Neural System Model Orchestrating Sleep and Wakefulness Mechanisms. Tamakawa Y., Karashima A., Koyama Y., Katayama N., Nakao M. J Neurophysiol 95 2006.3
- Neurobiological basis of state-dependent control of motor behaviors. Takakusaki K., Saito K., Nonaka T., Okumura T., Miyokawa N., Koyama Y. Sleep and Biological Rhythms 4 2006.4
- Requirement of tryptophan hydroxylase during development for maturation of sensorimotor gating Nakamura K., Koyama Y., et al., J Mol. Biol. 363 2006.8
- Suppressive effect of acupuncture stimulation to the sacral segment on the state of vigilance and the brainstem cholinergic neurons. Wang H., Koyama Y., Jodo E., Kayama Y. Fukushima J. Med. Sci. 52 2006.12
- レム睡眠の中枢機序 単著 Brain Medical: 18 18 2006.3
- 睡眠-覚醒リズムを制御する神経機構の数理モデル 辛島彰洋、玉川雄一、小山純正、片山統裕、中尾光之 信学技報 106・79 2006.3
- オレキシンによる筋緊張の調節 小山純正 高草木薫 医学の歩み 220 2007.1
- 【学会発表】** Suppressive effect of acupuncture to the sacral segment on bladder activity and on the state of vigilance 第2回環境生理学プレコングレス 関前橋市 2006.3

Acupuncture stimulation at the sacral segment affects the neuronal activity in the locus coeruleus and the cortical electroencephalogram 第83回日本生理学会大会 関前橋市 2006.3

外背側被蓋核によるレム睡眠中の陰莖勃起の調節 第83回日本生理学会大会 関前橋市 2006.3

ラット排尿中枢ニューロンへの入力様式と神経伝達物質の同定 第94回日本泌尿器科学会総会 関福岡市 2006.4

Suppressive effect of acupuncture to the sacral segment on bladder activity and state of vigilance 日本睡眠学会第31回定期学術集会 関大津市 2006.6

Neurotransmitters that maintain and suppress the tonic firing of the serotonergic neurons in the dorsal raphe during sleep waking cycles. 第29回日本神経科学大会 関京都市 2006.7

Brainstem Control of the EEG during REM sleep. 第29回日本神経科学大会 関京都市 2006.7

ラット橋排尿中枢ニューロンへの生理学的機能と神経伝達物質について 第13回日本排尿機能学会 関東京 2006.9

The laterodorsal tegmental nucleus is involved in the generation of penile erection 日本性機能学会第17回学術総会 関京都市 2006.9

Involvement of the septal neurons in penile erection: electrical stimulation and neuronal recording studies in rats. 第39回東北生理談話会 関山形市 2006.10

Effect of acupuncture stimulation to the sacral segment on the state of vigilance. 第39回東北生理談話会 関山形市 2006.10

Urinary bladder-associated activity and neurotransmitters of the micturition center neurons The 36th Annual Meeting of Society for Neuroscience 関アトランタ 2006.11

夜尿症のメカニズムの解明とその治療法の確立をめざして 福祉保健医療技術プロジェクト 第1回ワークショップ 関福島市 2006.1

適応的行動発現を可能にする自律神経系と意識(覚醒)調節の統合メカニズム 特定研究班 移動知班会議 関京都市 2006.7

勃起中枢から見たED診断について基礎医学の視点からラットにおける勃起中枢の解析— 日本性機能学会第17回学術総会卒後・生涯教育プログラム 関京都市 2006.9

すこやかな眠りを得るためのメカニズムの解明と睡眠障害の治療法の確立をめざして— 一眠りのつぼの不思議をさぐる— 福祉保健医療技術プロジェクト 第1回ワークショップ 関福島市 2007.1

視床下部・大脳基底核を介する筋緊張調節のメカニズム—オレキシン, GABA 作動性ニューロンの関与について— 特定研究班 移動知班会議 関洞爺湖 2007.3

柴崎 直明

【論文】 アフリカにおける地下水開発と井戸成功率 商学論集 75巻3号 2007.3

【調査報告】 福島地下水盆・郡山地下水盆の予察的シミュレーションモデルの構築と地下水観測網の検討 自然共生・再生研究、共生のシステム Vol.5 2007.3

きたかた清水の再生によるまちづくりに関する調査研究報告書 超学際的研究機構 平成18年度福島県委託事業、特定非営利活動法人超学際的研究機構 2007.3

【書評】 地球のなぞを追って 書燈 No.37 2006.10

鈴木 浩

【著書】 日本版コンパクトシティ 単 学陽書房

東京の住宅政策—地域居住政策の提言 2006 共 東京自治問題研究所

【論文】 地域再生をめざす地域居住政策の展望 都市住宅学 VOL.53 2006.4

地域再生の視点から都市計画を問う 都市問題 Vol.97 No.5 2006.5

福島県の商業まちづくり条例と地域社会 信州自治 No.172 2006.6

コンパクトシティによる地域づくり 地銀協月報 No.554 2006.8

市場主義と地域社会再生のはざま—建築経済分野の住宅系研究の視座— 住宅系研究の動向と新たな展開(日本建築学会) 2006.9

【調査報告】 人口減少高齢社会における都市のあり方に関する調査 大村慶一、他 単行本 2006.5

循環型地域経済システムの形成に関する
調査研究 下平尾勲、丹治惣兵衛、佐
藤英雄他 単行本(超学際的研究機
構) 2007.3

地域循環型住まいづくりに関する調査研
究 鈴木康之、深田俊雄、長谷川洋
単行本(超学際的研究機構) 2007.3

千葉 養伍

【論文】 Purification and characterization of alkali-
stable β -amylase from chinese yam
(nagaiimo) tuber. Y.Chiba and T.
Kuwashima Journal of Applied Gly-
coscience 53巻 2006.12

塘 忠顕

【論文】 Chorion of a South African heel-walker,
Karoophasma biedouwensis Klass et al.:
SEM observations (Insecta: Mantophas-
matodea) T.Uchifune, K.Tojo, R.
Machida Proceedings of Arthropodan
Embryological Society of Japan 41,29-
35 2006.12

Postembryonic development of ovaries
in a phlaeothripine thrips, *Liothrips ku-
wanai* (Moulton) (Insecta: Thysanop-
tera) Y.Ishikawa Proceedings of
Arthropodan Embryological Society of
Japan 41,57-58 2006.12

Hydatothrips 属 2 種, H. (*Hydatothrips*)
abdominalis (Kurosawa) と H. (*Neohyda-
tothrips*) *gracilicornis* (Williams) の
腹板腺の微細構造(総翅目・穿孔亜目)
下谷 沙織 Proceedings of Arthropo-
dan Embryological Society of Japan
41,59-65 2006.12

【調査報告】 摺上川ダム建設後における摺上川の水生
昆虫相 山下雄 共生のシステム5,
55-70 2007.3

福島県および宮城県における地理的単為
生殖昆虫オオシロカゲロウについて~新
たな生息地および個体群の性比~ 関
根一希, 遠藤絢香, 東城幸治 福島生
物 (49),5-11 2006.8

福島大学構内及びその周辺のアザミウマ
類 IV. 大学周辺の水田及び水田周辺の
植物から採集されたアザミウマ類 高
倉未来, 佐々木政喜 福島生物(49),
23-30 2006.8

【学会発表】 ユッカクダアザミウマ *Bagnalliella yuc-
cae* (Hinds) の卵母細胞質内に存在す
るマイセトムの微細構造(昆虫綱:アザ
ミウマ目) 長島歩美 日本節足動
物発生学会第42回大会 関福島大学

2006.6.1

長橋 良隆

【著書】 人類紀自然学 共著(分担執筆)
共立出版

【論文】 長野県, 高野層のボーリングコア試料の
全有機炭素(TOC)含有率変動に基づ
く更新世後期の古気候変動の復元 田
原敬治・公文富士夫・長橋良隆・角田尚
子・野末泰宏 地質学雑誌 112・9
2006.9

【学会発表】 広域テフラ層による鮮新・更新統の対比
日本第四紀学会 関東京 2006.8

近畿地方の第四紀テフラ層序に基づく大
規模爆発的噴火の層位と噴出体積 日
本火山学会 関熊本 2006.10

高野層オールボーリングコアの TOC 含
有率に基づく最終氷期の古気候変動の高
精度復元 日本地球惑星科学連合大会
関千葉 2006.5

東北本州弧, 脊梁山脈における伏在深成
岩体の非対称的な活動の可能性について
日本地球惑星科学連合大会 関千葉
2006.5

伊豆諸島新島火山のマグマ供給系の進化
日本地球惑星科学連合大会 関千葉
2006.5

秋田県男鹿半島南岸における中部更新統
鮭川層の堆積相解析 日本第四紀学会
関東京 2006.8

長野県高野層 TKN-2004 コアに基づ
く更新世後期の古環境変遷の解明 日
本第四紀学会 関東京 2006.8

男鹿半島北浦層上部(下・中部更新統)
の火山灰層序 日本第四紀学会 関東
京 2006.8

鮮新-更新統におけるテフラ層序の再構
築 日本第四紀学会 関東京 2006.8

High-resolution reconstruction of Late
Pleistocene climate based on TOC pro-
file in the TKN-2004 core drilled from
Takano Formation, central Japan
Shinshu University International Sympo-
sium2006 関長野 2006.10

【書評】 テフラ学入門-野外観察から地球環境視
の復元まで- 第四紀研究 45・2
2006.4

永幡 幸司

【論文】 グループホームにおける“家庭的”要素
に関する介護提供者の認識 前田享
史, 金子信也, 永幡幸司, 大友昭彦, 福

- 島哲仁 厚生指標 53 (10)
2006.9
- 過去の騒音問題に音環境の未来を診る—
警笛による騒音と拡声器騒音を事例に—
単著 騒音制御 30 (4) 2006.8
- Residents' evaluation of a Symbolic Sound
Facility; A Time Bell at Tanagura Town,
Fukushima, Japan Miho Kanomata,
Koji Nagahata The West Meets the
East in Acoustic Ecology (Program book
of World Forum for Acoustic Ecology
2006 in Hirosaki) 2006.11
- What do citizens imagine is a level of
80 dB?: A basic study of environmental
communication on soundspace issues
単著 Proceedings of inter-noise
2006 2006.12
- 【調査報告】** 歴史的な施設から鳴らされる時報を住民
はどのように評価しているか—出石「辰
鼓樓」を事例に— 鹿俣美保, 永幡幸
司 日本騒音制御工学会研究発表会講
演論文集 2006.9
- 良好な音環境創造のためのパートナ
ーシップの構築を目指して—福島市にお
ける音環境教育の実践例— 単著 騒
音制御 31 (1) 2007.2
- 公職選挙立候補者の考える街宣車放送の
効用について 有永由子, 永幡幸司,
鹿俣美保 日本音響学会騒音・振動研
究会資料 N-2007-14 2007.3
- 【学会発表】** 震災避難所の生活環境における音の問題
と他の問題との関係—新潟中越地震の避
難所における音の問題について (2)—
日本音響学会 函金沢 2006.9
- Acoustic environmental problems at tem
porary shelters for victims of the Mid
-Niigata Earthquake 4th Joint Meet
ing of Acoustical Society of America and
Acoustical Society of Japan 函Hawaii
2006.12
- What do citizens imagine is a level of
80 dB?: A basic study of environmental
communication on soundspace issues
inter-noise 2006 函Hawaii 2006.12
- 中村 泰久**
- 【論 文】** H α Observations of the Algol-Type Bi
nary RZ Cassiopeiae Shin-ya Na
rusawa, Shinobu Ozaki, Masami Okyudo,
Ryo Takano and Yasuhisa Nakamura
Publ. Astron. Soc. Pacific vol. 118,
pp. 809-813 2006.6
- 【学会発表】** 接触連星系 V781 Tau の測光解析
日本天文学会2007年春季年会 函神奈川
県平塚市: 東海大学 2007.3
- 難波 謙二**
- 【論 文】** 一般廃棄物処分場内の有機塩素化合物を
含む固体ワックス塊と人工地層単元.
大脇正人, 板津透, 難波謙二, 宮坂郁,
高橋あすか, 楡井久 地質汚染—医療
地質—社会地質学会誌 2 2006.9
- 【学会発表】** 放射性廃棄物の地層処分における微生物
研究の重要性 資源地質学会第 56
回年回講演会 函東京大学 2006.6
- Methane as a carbon cycling agent of
aquifers, NANBA Kenji The forth
Okazaki Biology Conference: "Terra Mi
crobiology 2". 函岡崎コンファ
レンスセンター 2006.9
- A study of the change in uranium load
of streamwater during downstream -
mainly about the biofilm on the riverbed-
American Geophysical Union 函San
Francisco, CA, USA 2006.12
- 虫明 功臣**
- 【論 文】** 阿武隈川流域における平常時の水質と栄
養塩負荷の実態 木内豪 土木学会
水工学論文集 Vol. 51, 1177-1182
2007.2
- 【学会発表】** 阿武隈川の水質の特徴と形成要因につい
て 木内豪 水文・水資源学会2006
年研究発表会 函岡山大学 2006.8
- Long-term change of stream water qual
ity as a consequence of watershed de
velopment and management 木内豪
3rd APHW Conference 函Bangkok
2007.1
- 阿武隈川流域水循環系健全化への課題—
特に清流復活に向けて— 木内豪
阿武隈川サミット講演会 函福島市
2006.11
- 渡邊 明**
- 【論 文】** Measurement of the exact two-dimen
sional precipitation Watanabe Akira
and Musiaka Katumi The 3rd Asia
Pacific Association of Hydrology and
Water Resources Conference CD-RO
M, 1-9 2006.10
- Lower-stratospheric and upper-tropo
spheric disturbances observed by radi
osondes over Thailand during January
2000 S. Ogino, K. Sato, M. Yamanaka, A.
Watanabe Jour. Atmos. Sci. Vol. 63, 3437-
3447. 2006.12

- 降電予測の可能性について 東北の農業気象学 Vol. 51, 18-19 2007. 3
- 羽越線列車事故時の強風出現 東北地域災害科学研究 Vol. 43, 173-178 2007. 3
- 【調査報告】 X-band radar を用いた2次元降水量精度向上の手法開発 共生のシステム Vol. 5, 1-7. 2007. 3
- 雨水のイオン降下量変動と環境負荷 共生のシステム Vol. 5, 8-12 2007. 3
- 【学会発表】 豪雨域と水蒸気移流 日本気象学会 図東京 2006. 5
- Measurement of the Exact Two-Dimensional Precipitation Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources Conference 図Thai (Bangkok) 2006. 10
- 2006年冬季の東北地方の降雪特性 日本気象学会 図名古屋 2006. 11
- 降電予測の可能性について 日本農業気象学会 図盛岡 2006. 11
- 2006年冬季の降雪特性 日本雪氷学会 図秋田 2006. 11
- 2004年のレーダー・アメダス解析雨量による東北地方の降水特性 日本気象学会東北支部 図仙台 2006. 11
- レーダー・アメダス解析雨量による積算雨量について 日本気象学会東北支部 図仙台 2006. 11
- 羽越線列車事故時の強風出現 日本自然災害学会東北支部 図盛岡 2007. 1
- examination Fukushima Journal of Rural Medicine Vol48, p9-11 2007. 1
- 大学生の血圧変動と睡眠時間の関連性 渡辺英綱 CAMPUS HEALTH 43 (1), p225 2007. 1
- 【調査報告】 日常業務を巡って 小林政雄、渡辺英綱 CAMPUS HEALTH 43 (1), p 109-138 2007. 1
- 【学会発表】 脂肪肝を指摘された症例の背景と NASH 罹患リスク 第44回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会 図山形県 オーナマホテル 2006. 7
- A Novel Anti-Obesity Strategy through Stress Relaxation by Essential Oils 24th IFSCC Congress Osaka 図Osaka International Convention Center Japan 2006. 10
- 健康診断時に脂肪肝を指摘された症例の NASH 罹患リスクの現状 第54回福島県農村医学会総会 図A しらかわ多目的ホール 2006. 6
- LDLサイズと内臓脂肪およびインスリン抵抗性の関連性 第103回日本内科学会総会講演会 図パシフィコ横浜 2006. 4
- 非肥満健常者(女性)における血中レジスチン(RES)に対する影響要因 第49回日本糖尿病学会年次学術集会 図東京国際フォーラム、東京 2006. 5
- 体温と生活習慣および各種罹患率との関係 第44回全国保健管理研究集会 図国立オリンピック記念青少年総合センター、東京 2006. 10
- 渡辺 厚**
- 【論文】 希死念慮を持つ学生のスクリーニング 渡辺英綱、酒井コウ、川上敦子 CAMPUS HEALTH 43 (1) 2006
- 対人恐怖症と社会恐怖の違いについて 福島大学保健管理センター紀要 21 2006
- 【学会発表】 対人恐怖と社会恐怖(DSM-IV-TR)の異同について 第44回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会 山形市 2006. 7
- 渡辺 英綱**
- 【論文】 肥満学生の内臓脂肪型肥満と脂肪肝の関係 渡辺英綱、渡辺厚、酒井コウ、川上敦子 CAMPUS HEALTH 43 (1), p205 2007. 1
- Present condition of risk for NASH in patients with fatty liver on the medical

福島大学研究年報編集・投稿規定

I、性格規定

1. 本研究年報は、大学が重点的に配分する研究経費に基づく研究成果を公表することを目的とする。
2. 大学が重点的に配分する研究経費は、以下のとおりである。
 - (1)奨励的研究経費
 - (2)学術振興基金・学術研究支援助成
 - (3)プロジェクト研究推進経費
3. 本研究年報は、論文、研究成果報告書、及び前年度研究業績一覧をもって構成する。論文、研究成果報告書、及び前年度研究業績一覧の詳細については、以下に記載する。

II、募集・刊行

1. 本研究年報に関する原稿の募集期限は9月末日とし、同年12月31日付けで刊行する。
2. 論文については投稿締め切り日をもって受理日とし、論文末尾にこれを記載する。

III、担当委員会及び事務局

1. 本研究年報の編集及び出版にかかる作業は研究推進委員会内に設置される研究年報編集委員会が行い、投稿論文の掲載の可否、研究成果報告書、及び前年度研究成果一覧の体裁や形式にかかる調整を担当する。
2. 本研究年報の刊行にかかる事務は研究支援グループが行い、発送業務は附属図書館及び関係部署において行う（送付先が大学の場合は附属図書館宛に送付）。

IV、論 文

1. 論文は、前年度の重点的予算に基づく研究成果を論文形態で公表するものであり、その内容により「論文」と「調査報告」に分けられる。「論文」には査読（レフェリー）制度を適用する。
2. 「論文」「調査報告」は刷り上がり10頁（400字詰め原稿用紙換算で50枚）を上限とし、下限は定めない。
3. 「論文」「調査報告」が制限頁数を越えた場合は、当該論文の投稿者（単位）が越えた分の必要経費を負担する。負担額は別に定める。
4. 本年報に掲載された「論文」「調査報告」の著作権は福島大学に帰属する。ただし、著作者（単位）自身は、自分の論文、調査報告の全部または一部を複製、翻訳、翻案などの形で利用することができる。なお、研究年報の全容は原則として電子化するものとし、附属図書館ホームページを通じてコンピュータ・ネットワーク上に公開する。
5. 「論文」「調査報告」は9月末日までに研究支援グループに提出する。

V、禁止事項

1. 本研究年報に掲載される論文は、未公刊のものに限る。研究者の倫理に基づき、論文の盗用、ならびに二重投稿を禁止する。
2. 論文の盗用、二重投稿と認められる行為があった場合は、その内容に基づき一定期間本研究年報への投稿を認めない。
3. 論文の盗用、二重投稿と認められる行為があった場合は、大学の説明責任に基づき、その事実関係、大学の処置について本研究年報誌上に公表するものとする。

VI、査 読

1. 本研究年報に掲載する論文に査読を義務づける。
2. 編集委員会は査読者2名を選任し、論文の査読を依頼する。査読期間はおおむね2週間以内とする。
3. 査読者は、必要があれば助言を付して、当該論文の本年報への掲載の可否について編集委員会に意見を述べる。投稿者は助言を参照のうえ、必要があれば論文の加筆、訂正等を行うものとする。

Ⅶ、研究成果報告書

1. 大学が重点的に配分した研究経費による研究成果の報告を、本研究年報に掲載する。
2. 大学から重点的研究経費の配分を受けた者（単位）は、別に定める様式により4月末日までに研究成果報告書を研究連携課に提出する。

Ⅷ、前年度研究成果一覧

1. 本研究年報に、全教員の前年度（4月1日から翌年3月31日まで）1年間の「研究業績リスト」を掲載する。新規着任教員についても、前年度の全業績を掲載する。
2. 「研究業績リスト」の掲載項目は、以下のとおりである。
 - (1)著書……書名、単著、共著、共編著等の別、出版社名
 - (2)論文……論文題目、共同執筆者がある場合はその氏名、掲載誌名、巻号、刊行年月
 - (3)調査報告（判例批評等を含む）……題目、共同執筆者がある場合はその氏名、掲載誌名、巻号、刊行年月
 - (4)訳書……単著、共著、共編著等の別、出版社名
 - (5)学会発表……発表題目、学会名、場所、発表年月日
 - (6)実技に関する業績……開催者名（競技会、展覧会、演奏会等の名称）、題目（競技名、作品名等）、成績、開催年月日
 - (7)書評……題目、掲載誌名、巻号、刊行年月
 - (8)特許……特許名、発明者名、出願番号
3. 教員は別に定める様式により、9月末日までに「研究業績リスト」を編集委員会に届ける。

Ⅸ、配 布

本研究年報の配布先は、以下のとおりとする。

- (1)国立国会図書館
- (2)本学と機関誌交換による研究交流のある全国公私立大学、短期大学、国立工業高等専門学校
- (3)海外の交流協定締結大学
- (4)福島県立図書館、ならびに県内公立図書館
- (5)本学教員
- (6)上記以外に、本年報の配布を必要とする機関

Ⅹ、編集細則、執筆要領

本研究年報の編集にかかる細則、ならびに執筆要領は別に定める。

本規定は平成17年11月2日から施行する。

福島大学研究年報 第3号

発行2007年12月

編集・発行者

国立大学法人福島大学

〒960-1296 福島市金谷川1

TEL (024) 548-5151(代)

代表者 今野 順夫

印刷所 山川印刷所

(非売品)